

線虫類	ブラティレンクス科	影響度	緊急度
948	レンコンネモグリセンチュウ <i>Hirschmanniella</i> sp.	C	B

【原産】? 【国内分布】レンコン栽培地 【県内分布】長生郡,君津郡,香取郡,レンコン栽培圃場 【形態・生態】TL♀1-2mm,草食,環境:淡水域(レンコン栽培田) 【繁殖】卵生,場所:レンコン根部,時期:通年 【国内侵入】210:?? 【県内侵入】210:1990年代前半 【影響】310(レンコン) 【緊急】登録農薬がなく汚染圃場は拡大中 【対策】無寄生の種はず選択. 線虫汚染圃場からの土の移動防止,連作を避け,休耕又は乾田化し,線虫密度を下げる 【備考】生理生態及び形態分類については中央農業総合研究センター線虫害研究室 【文献全般】- 【文献県内】4,177

線虫類	アフエレンコイデス科	生態学会100	影響度	緊急度
949	マツノザイセンチュウ <i>Bursaphelenchus xylophilus</i>	A	A	

【原産】北アメリカ 【国内分布】北海道,青森県を除く全都府県 【県内分布】全域 【形態・生態】TL♀0.7-1mm♂0.6-0.8mm,マツノマダラカミキリにより媒介,マツの木部に寄生,全身的な衰弱・枯損を起こす,草食,環境:陸域 【繁殖】卵生,場所:マツ木部,時期:通年 【国内侵入】250造船用輸入木材に寄生:1905年長崎県 【県内侵入】250枯損木の移動:1948年(君津市) 【影響】330(防風林マツ) 【緊急】- 【対策】薬剤防除 抵抗性マツ系統の導入,薬剤防除 【備考】- 【文献全般】136,372 【文献県内】37

軟体動物	ヤマタニシ科	国内外来生物	影響度	緊急度
950	ヤマクルマ <i>Spirostomajaponicum japonicum</i>	D	C	

【原産】西日本 【国内分布】近畿地方以西の西日本 【県内分布】館山市. おそらく定着,海岸で打上げられた個体を確認 【形態・生態】環境:陸域:林縁,食性:主に落葉等 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生)後産卵し,孵化後幼貝から成貝に成長,場所:成体と同じ,時期:春から秋? 【国内侵入】在来:- 【県内侵入】220(観葉植物等)に伴って県内に持ち込まれ,繁殖している:平成時代 【影響】230(広東住血線虫の中間宿主の可能性) 【緊急】現段階では危険性は少ない 【対策】苗木等の移動時のチェック 【備考】標本CBM 【文献全般】東(1995) 【文献県内】-

軟体動物	アズキガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
951	アズキガイ <i>Pupinella rufa</i>	C	C	

【原産】主に西日本 【国内分布】移入として,関東等 【県内分布】千葉市. 定着は未確認だが,埋立地先で打ち上げ殻が確認,定着していると推測される 【形態・生態】SHca.1cm,交尾後多分産卵し,孵化後幼貝から成貝へ成長,食性:落葉等,環境:陸域:主に林縁の落葉下 【繁殖】体内受精(雌雄異体),繁殖場所:成体と同じ 【国内侵入】:- 【県内侵入】230(植栽等):平成時代 【影響】- 【緊急】定着していても範囲が小さそうである 【対策】苗木等の移動時のチェック 【備考】国内外来種 【文献全般】132 【文献県内】-

軟体動物	タニシモドキ科	要注意外来生物(注意喚起), IUCN100	影響度	緊急度
952	スクミリンゴガイ <i>Pomacea canaliculata</i>	A	A	

【原産】アルゼンチン 【国内分布】本州,四国,九州,琉球 【県内分布】主に九十九里平野,東総地方から南に分布拡大中. 各地で高密度 【形態・生態】SLca.6cm,草食,環境:淡水域:水田等の止水域~緩流域 【繁殖】体内受精(卵生/付着卵産卵/直達発生),場所:成体と同じ,時期:冬季以外 【国内侵入】110:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】110:昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】113,310(イネ),250(大量死亡時の水質悪化等?),230(広東住血線虫) 【緊急】- 【対策】植物防疫法の遵守,国内移動制限,取水口の侵入防止,捕殺,厳寒期のロータリー耕,登録薬剤による防除,水位調節 【備考】標本CBM 【文献全般】181,202 【文献県内】212

軟体動物	ウミミナ科	国内外来生物	影響度	緊急度
953	ホソウミナ		C	C
	<i>Batillaria cumingii</i>			

【原産】北海道-九州 【国内分布】千葉県 【県内分布】市川市新浜。実験的に持ち込み、繁殖している 【形態・生態】SHca.2cm, 直達発生で、幼貝から成貝に成長する,食性:珪藻等,環境:海域:潮間帯の砂・砂泥底 【繁殖】体内受精(胎生),場所:成体と同じ, 時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】-:- 【県内侵入】実験用持込:昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】- 【緊急】由来がわかっており、絶滅した地域での回復調査としての意義が大きいので見守る 【対策】個体群動態の調査 【備考】県内在来種: 個体群回復の実験のために導入 【文献全般】- 【文献県内】飯島(2004)

軟体動物	フトヘナタリ科	国内外来生物?	影響度	緊急度
954	カワアイ	県RDB:A	C	C
	<i>Cerithidea djadjariensis</i>			

【原産】黄海? 【国内分布】- 【県内分布】DNAで外来と確認,個体数は増加傾向 【形態・生態】SHca.3cm,プランクトン幼生が着底し、幼貝から成貝へ成長する,食性:珪藻等,環境:海域:潮間帯の泥底 【繁殖】体内受精(卵紐産出),場所:潮間帯の泥底,時期:主に夏? 【国内侵入】210(潮干狩り用アサリに混入?):- 【県内侵入】210(潮干狩り用アサリに混入?):平成時代 【影響】- 【緊急】個体数も多く、駆除等が困難。東京湾ではほぼ絶滅した種 【対策】バラストタンク水の殺菌や移入アサリのチェック,個体群動態の調査,産地表示の明確化 【備考】標本CBM 【文献全般】- 【文献県内】145,84

軟体動物	カワミナ科	国内外来生物	影響度	緊急度
955	カワミナ属の一種		C	C
	<i>Semisulcospira sp.cf. forticosta</i>			

【原産】朝鮮半島 【国内分布】関東 【県内分布】利根川河口堰/茨城県側。千葉県側での生息の確認はできていないが、ほぼ確実に定着していると考えられる 【形態・生態】SHca.3cm,不明だが、幼貝から成貝に成長する,食性:珪藻等,環境:淡水域:止水域の底質上 【繁殖】体内受精(胎生),場所:成体と同じ,時期:不明 【国内侵入】110食用シジミの遺棄に伴う移入:平成時代 【県内侵入】400能動分散:平成時代 【影響】- 【緊急】まだ確実に増加しそうだが、根絶が困難 【対策】移入シジミのチェック,産地表示の明確化 【備考】標本CBM 【文献全般】黒住・岡本(2002) 【文献県内】黒住・岡本(2002)

軟体動物	ミズツボ科		影響度	緊急度
956	コモチカワツボ		C	C
	<i>Potamopyrgus antipodarum</i>			

【原産】ニュージーランド 【国内分布】ほぼ日本全国 【県内分布】千葉市,利根川等。定着 【形態・生態】止水域に、比較的高密度で生息,食性:珪藻等,環境:淡水,止水域の底質等 【繁殖】主に単為生殖で稚貝を生み成長,場所:成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】210:平成時代 【県内侵入】230(シジミ類や水草の移動に伴い、分散):平成時代 【影響】120((在来カワミナ類),230,340(寄生虫?) 【緊急】現段階では危険性少 【対策】水草等の移動時のチェックや水槽内個体の野外遺棄防止,時に薬剤散布 【備考】標本CBM 【文献全般】増田ほか(1998) 【文献県内】221

軟体動物	カワザンショウガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
957	ウスイロオカチグサ		D	C
	<i>Solenophala debilis</i>			

【原産】琉球列島 【国内分布】琉球,本州,九州,四国 【県内分布】習志野市,館山市。一部で定着が確認されているが、個体数は多くない 【形態・生態】直達発生で、幼貝から成貝に成長する。環境:陸域:開けた場所,食性:主に落葉等 【繁殖】体内受精(付着卵囊/直達発生),場所:陸域:開けた場所,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】在来種:- 【県内侵入】220:平成時代 【影響】- 【緊急】現段階では危険性は少ない 【対策】観葉植物・水草等の移動時のチェックや土壌・水槽内洗浄の確認しない廃棄 【備考】この種自体が国外外来生物の可能性もある 【文献全般】矢野・増田(1999) 【文献県内】325

軟体動物	カリバガサ科	影響度	緊急度
958	シマメノウフネガイ	B	C
<i>Crepidula onyx</i>			

【原産】アメリカ西岸中部 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】各地. 各地で比較的高密度生息 【形態・生態】SLca. 3cm, プランクトン幼生が着底し成長, 懸濁物食(貝類等の排泄物を含む), 環境: 海域: 潮間帯～上部浅海帯の貝類等の基質上 【繁殖】体内受精(卵嚢保育?/雄先成熟), 場所: 成体と同じ, 時期: 不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】211(?): 昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】400能動分散: 昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】100(在来種成長阻害?), 340(有用巻貝類の成長阻害?) 【緊急】広範囲に多数生息, 駆除困難 【対策】バラスト水殺菌や付着生物チェック 【備考】標本CBM 【文献全般】169, 42, 202 【文献県内】14

軟体動物	タマガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
959	サキグロタマツメタ		A	B
<i>Laguncula pulchella</i>				

【原産】有明海/黄海 【国内分布】東京湾等 【県内分布】小櫃川河口干潟. 着実に個体数が増加している 【形態・生態】SHca. 5cm, プランクトン幼生が着底し成長, 食性: 二枚貝等の貝類, 環境: 海域: 潮間帯～上部浅海帯の砂/砂泥底 【繁殖】体内受精(卵嚢[砂茶碗]形成), 場所: 成体と同じ, 時期: 不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】-:- 【県内侵入】210(潮干狩り用アサリ): 平成時代 【影響】112(貝類), 340(二枚貝) 【緊急】有用貝類の捕食が認められるが, 個体数増加中で駆除等困難 【対策】移入アサリのチェック, 一部見つけ採り, 産地表示の明確化 【備考】標本CBM, 写真: 東京湾漁業研究所 【文献全般】271, 231 【文献県内】-

軟体動物	タマガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
960	ゴマフダマ		A	A
<i>Natica tigrina</i>				

【原産】有明海/黄海 【国内分布】東京湾等 【県内分布】小櫃川河口干潟. 定着未確認だが, 今後定着の可能性大 【形態・生態】SHca. 2.5cm, プランクトン幼生が着底し, 幼貝から成貝へ成長する, 食性: 二枚貝等の貝類, 環境: 海域: 潮間帯から上部浅海帯の砂/砂泥底 【繁殖】体内受精(卵嚢[砂茶碗]形成), 場所: 成体と同じ, 時期: 不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】-:- 【県内侵入】210(潮干狩り用アサリに混入): 平成時代 【影響】112(貝類), 310 【緊急】個体が増加すると影響がでそうなので, 早期対策必要 【対策】移入アサリのチェック, 産地表示の明確化 【備考】標本CBM, 野外逸脱的 【文献全般】- 【文献県内】160

軟体動物	カノコキセワタ科	影響度	緊急度
961	ヤミヨキセワタ	C	C
<i>Melanochlamys sp.</i>			

【原産】- 【国内分布】北海道～瀬戸内海 【県内分布】江戸川放水路, 小櫃川河口干潟. 個体数は少ない 【形態・生態】TLca. 2cm, 不明, 肉食(貝類や多毛類?), 環境: 海域: 潮間帯の砂/砂泥底 【繁殖】不明, 場所: 不明, 時期: 不明 【国内侵入】211?: 平成時代 【県内侵入】211?: 平成時代 【影響】- 【緊急】個体数は少ないようで, 現在のところ影響は多大ではないようである 【対策】バラストタンク水の「殺菌」等 【備考】外来生物であるか未確定 【文献全般】日本ベントス学会(2012) 【文献県内】和田ほか(1996)

軟体動物	モノアラガイ科	影響度	緊急度
962	コシダカヒメモノアラガイ	C	C
<i>Galba truncatula</i>			

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】北海道, 本州, 四国, 九州, 琉球 【県内分布】千葉市. 報告例は少ないが, 各地に低密度で生息していると思われる 【形態・生態】SHca. 0.6cm, 直達発生で, 幼貝から成貝に成長する, 食性: 珪藻等, 環境: 淡水域: 止水域の水面直上の湿性部分 【繁殖】体内受精(付着卵嚢/直達発生), 場所: 成体と同じ, 時期: 不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】210: 明治時代 【県内侵入】210: 明治時代? 【影響】230(吸虫類の中間宿主の可能性) 【緊急】個体数・確認地点も少なく, 被害等の報告はない 【対策】水草等の移動時のチェック 【備考】標本CBM 【文献全般】黒田(1963) 【文献県内】151, 新島・田中(2000)

軟体動物	モノアラガイ科	影響度	緊急度
963	モノアラガイ類	C	C
	<i>Lymnaea</i> spp.		

【原産】?(一部は東南アジア?) 【国内分布】関東地方等 【県内分布】県北部. 記録地域は少ないが、広く分布していると考えられる 【形態・生態】SHca.0.8cm,直達発生,食性:珪藻等,環境:淡水域:止水域の水草等 【繁殖】体内受精(付着卵囊/直達発生),場所:成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】230:平成時代 【県内侵入】230:平成時代 【影響】230(吸虫類の中間宿主の可能性) 【緊急】人工池等に分布を広げているが、被害等は確認されていないようである 【対策】水草等の移動時のチェックや水槽内個体の野外遺棄防止 【備考】標本CBM 【文献全般】上島ほか(2000),増田・内山(2004) 【文献県内】新島・田中(2000)

軟体動物	モノアラガイ科	影響度	緊急度
964	ハブタエモノアラガイ	C	C
	<i>Pseudosuccinea columella</i>		

【原産】北アメリカ 【国内分布】本州等 【県内分布】各地. 人里に広く生息 【形態・生態】SHca.1cm,直達発生で、幼貝から成貝に成長する,食性:珪藻等,環境:淡水域:主に止水域の水面直上の湿性部分 【繁殖】体内受精(付着卵囊/直達発生),場所:成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】230:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】230:昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】230(吸虫類の中間宿主の可能性) 【緊急】広範囲に分布しているが、被害等は報告されていないようである 【対策】水草等の移動時のチェック 【備考】標本CBM 【文献全般】289,増田・内山(2004) 【文献県内】黒住・岡本(1996),204

軟体動物	サカマキガイ科	影響度	緊急度
965	サカマキガイ	B	C
	<i>Physa acuta</i>	生態学会100	

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】日本全国 【県内分布】全域. 各地に比較的高密度で生息 【形態・生態】SHca.0.8cm,珪藻食等,時に生葉,環境:淡水域:止水域の水草等 【繁殖】体内受精(付着卵囊/直達発生),場所:成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】?:昭和時代(太平洋戦争以前) 【県内侵入】230(観用水草?):昭和時代(太平洋戦争以前)? 【影響】112(在来種),310(水田作物?),270(観葉植物食害),230(吸虫類中間宿主?) 【緊急】分布・数とも多く、駆除等は難しい 【対策】水草等の移動時の検査や飼育個体の野外遺棄防止,時に薬剤散布 【備考】標本CBM 【文献全般】156,202 【文献県内】85,160

軟体動物	サカマキガイ科	影響度	緊急度
966	タスキガケサカマキガイ	C	C
	<i>Physa</i> sp. cf. <i>gyrina</i>		

【原産】北アメリカ? 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】各地. 各地の止水域 【形態・生態】SHca.0.8cm,直達発生で、幼貝から成貝に成長,食性:珪藻等,環境:淡水域:止水域の水草等 【繁殖】体内受精(付着卵囊),時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】230:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】230:昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】112(在来種?),310(水田作物等?),270(観葉植物食害),230(吸虫類?) 【緊急】サカマキガイとの識別が難しく、また被害等の報告もないようである 【対策】水草等の移動時チェックや飼育個体の野外遺棄防止 【備考】標本CBM 【文献全般】223,171 【文献県内】223

軟体動物	ヒラマキガイ科	影響度	緊急度
967	ヒラマキミズマイマイ類	C	C
	<i>Gyraulus</i> sp. cf. <i>illibatus</i>		

【原産】東南アジア? 【国内分布】千葉県 【県内分布】千葉市. 千葉市産標本の所在が不明で再検討不能,県内各地に分布している可能性高 【形態・生態】SBca.5cm,直達発生で、幼貝から成貝に成長する,食性:珪藻等,環境:淡水域:止水域の水草等 【繁殖】体内受精(付着卵囊/直達発生),場所:成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】230:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】230:昭和時代(太平洋戦争以降)? 【影響】230(吸虫類?) 【緊急】在来種との識別困難,被害等の報告もない 【対策】水草等移動時チェック,水槽内個体の野外遺棄防止 【備考】標本CBM(県外産) 【文献全般】171 【文献県内】188

軟体動物	ヒラマキガイ科	影響度	緊急度
968	インドヒラマキガイ	C	C
<i>Indoplanorbis exustus</i>			

【原産】インド 【国内分布】本州, 四国, 九州, 琉球 【県内分布】千葉市. 野外逸脱だけで、繁殖していない可能性高 【形態・生態】SBca.1.5cm, 直達発生, 食性:珪藻等, 環境:淡水域:止水域の水草上 【繁殖】体内受精(付着卵囊), 場所:成体と同じ, 時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】230:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】230:昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】230(吸虫類?) 【緊急】水槽内では付着藻の除去に利用 【対策】水草等移動時チェックや水槽内個体の野外遺棄防止 【備考】- 【文献全般】63 【文献県内】倉西(1996)

軟体動物	ヒラマキガイ科	影響度	緊急度
969	コビトノボウシザラ	C	C
<i>Pettancylus pettardi</i>			

【原産】オーストラリア? 【国内分布】本州 【県内分布】市原市. これまでのところ、市原市のみで確認されている 【形態・生態】SLca.0.3cm, 直達発生で、幼貝から成貝に成長する, 食性:珪藻等, 環境:淡水域:止水域の水草の葉裏等 【繁殖】体内受精(付着卵囊/直達発生), 場所:成体と同じ, 時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】230:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】230:昭和時代(太平洋戦争以降)? 【影響】230(吸虫類の中間宿主の可能性) 【緊急】報告例も少なく、被害等の報告もない 【対策】水草等の移動時のチェックや水槽内個体の野外遺棄防止 【備考】標本CBM 【文献全般】Barch(1964), 渡部(1990) 【文献県内】-

軟体動物	スナガイ科	国内外来生物?	影響度	緊急度
970	スナガイ	県RDB:C	C	C
<i>Gastrocopta armigerella</i>				

【原産】本州, 九州, 琉球 【国内分布】関東地方等? 【県内分布】各地. 在来群は海岸地域に、外来群は造成地等に生息している 【形態・生態】SHca.0.3cm, 受精後たぶん産卵し、孵化後幼貝から成貝に成長, 食性:主に落葉等, 環境:陸域:開放地から林縁部 【繁殖】体内受精(雌雄同体/直達発生), 場所:成体と同じ, 時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】-:昭和時代(太平洋戦争以降)? 【県内侵入】220(植栽等に付随):昭和時代(太平洋戦争以降)? 【影響】- 【緊急】個体数が多く微小なので、駆除等は難しい 【対策】苗木等の移動時のチェック 【備考】標本CBM 【文献全般】- 【文献県内】黒住・岡本(1996)

軟体動物	スナガイ科	影響度	緊急度
971	スナガイの一種	D	C
<i>Gastrocopta sp.</i>			

【原産】? 【国内分布】千葉県 【県内分布】浦安市, 千葉市. 1ヶ所でのみ、比較的高密度で生息 【形態・生態】SHca.0.3cm, 受精後たぶん産卵し、孵化後幼貝から成貝に成長, 食性:主に落葉等, 環境:陸域:開放地 【繁殖】体内受精(雌雄同体/直達発生), 場所:成体と同じ, 時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】230:昭和時代(太平洋戦争以降)? 【県内侵入】230:昭和時代(太平洋戦争以降)? 【影響】- 【緊急】報告例も少なく、面積も狭いので、駆除実験が可能かもしれない 【対策】農作物・苗木等の移動時のチェック 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

軟体動物	ミジンマイマイ科	影響度	緊急度
972	ソウジマミジンマイマイ	C	B
<i>Valonia pulchella</i>			

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】関東地方 【県内分布】浦安市. 現在のところ、1ヶ所でのみ確認 【形態・生態】SBca.0.3cm, 陸域:開放地から林縁部, 食性:主に落葉等, 環境:陸域:開放地から林縁部 【繁殖】体内受精(雌雄同体/直達発生), 場所:成体と同じ, 時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】210:昭和時代(太平洋戦争以降)? 【県内侵入】210:昭和時代(太平洋戦争以降)? 【影響】- 【緊急】報告例も少なく、面積も狭いので、駆除実験が可能かもしれない 【対策】農作物・苗木等の移動時のチェック 【備考】別名ツヤミジンマイマイ, 標本CBM(他県産) 【文献全般】178 【文献県内】89

軟体動物	ミジンマイマイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
973	ミジンマイマイ	県RDB:C	C	C
<i>Valonia pulchellula</i>				

【原産】本州-九州 【国内分布】千葉県 【県内分布】各地. 在来群は海岸地域に、外来群は造成地等に生息している 【形態・生態】SBca.0.3cm,陸域:開放地から林縁部,食性:主に落葉等,環境:陸域:開放地から林縁部 【繁殖】体内受精(雌雄同体/直達発生),場所:成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】-:昭和時代(太平洋戦争以降)? 【県内侵入】220(植栽等に付随):昭和時代(太平洋戦争以降)? 【影響】- 【緊急】個体数が多く、微小なので、駆除等は難しい 【対策】苗木等の移動時のチェック 【備考】標本CBM 【文献全般】- 【文献県内】稲葉(1975)

軟体動物	キセルガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
974	キュウシュウナミコギセル		C	C
<i>Euphadusa subaculus</i>				

【原産】北部九州 【国内分布】北部九州 【県内分布】柏市. 人家の庭1ヶ所のみで、周辺への分散は認められていない 【形態・生態】SHca.1.2cm,受精後体内で発生し、稚貝を産出し幼貝から成貝に成長,食性:主に落葉等,環境:陸域:開放地から林縁部 【繁殖】体内受精(雌雄同体/卵胎生/直達発生),場所:成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】210国内在来種:- 【県内侵入】210:昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】- 【緊急】周辺へ分布拡大していない 【対策】苗木等の移動時のチェック 【備考】国内外来種 【文献全般】- 【文献県内】226

軟体動物	オカクチキレガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
975	トクサオカチョウジガイ		B	C
<i>Paropeas achatinaceum</i>				

【原産】東南アジア 【国内分布】本州,四国,九州,琉球,小笠原 【県内分布】各地. 人里に広く生息 【形態・生態】SHca.0.8cm,受精後産卵し、孵化後幼貝から成貝に成長,食性:落葉等で時に生きた植物体,環境:陸域:開放地 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生),場所:成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】210(サトウキビ):昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】210:昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】310(農作物の根等),270(家庭菜園),230(吸虫類の中間宿主の可能性) 【緊急】県内では、農業被害等の報告はないようである 【対策】農作物・苗木等の移動時のチェック 【備考】標本CBM 【文献全般】154 【文献県内】85

軟体動物	オカクチキレガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
976	オオクビキレガイ		C	B
<i>Rumina decollata</i>				

【原産】地中海沿岸 【国内分布】千葉県~九州 【県内分布】君津市. 家庭菜園に定着 【形態・生態】受精後産卵し、孵化後幼貝から成貝に成長,環境:陸域:開放地,食性:生きた植物体や落葉等 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生),場所:陸域:開放地 【国内侵入】240:平成時代 【県内侵入】220:平成時代 【影響】230(広東住血線虫の中間宿主の可能性)112(他のカタツムリ?),310,270(野菜類),200(不快害虫) 【緊急】やや危険な状態 【対策】苗木等の移動時のチェック,薬剤散布や生息環境の改悪 【備考】標本CBM(県外産) 【文献全般】175,172 【文献県内】172

軟体動物	パツラマイマイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
977	パツラマイマイ		C	C
<i>Discus pauper</i>				

【原産】北日本 【国内分布】関東地方 【県内分布】各地. 県北部を中心に広く、時に高密度に生息 【形態・生態】SBca.0.8cm,受精後産卵し、孵化後幼貝から成貝に成長,食性:主に落葉等,環境:陸域:開放地から林縁部 【繁殖】体内受精(雌雄同体/直達発生),場所:成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】-:江戸時代? 【県内侵入】220(植栽等):昭和時代(太平洋戦争以降)? 【影響】230(広東住血線虫の中間宿主の可能性) 【緊急】個体数が多いので、駆除等は難しい 【対策】苗木等の移動時のチェック 【備考】標本CBM 【文献全般】158 【文献県内】稲葉(1975),黒住・岡本(1996)

軟体動物	イシノシタ科		影響度	緊急度
978	ノハライシノシタ		C	C
	<i>Helicodiscus inermis</i>			

【原産】北アメリカ 【国内分布】関東地方 【県内分布】千葉市。記録は少なく、状況不確実 【形態・生態】SBca.0.2cm,受精後多分産卵し、孵化後幼貝から成貝に成長,食性:不明,環境:陸域:開放地の石の下等 【繁殖】体内受精(直達発生),場所:成体と同じ,時期:不明 【国内侵入】210:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】210:平成時代? 【影響】230(広東住血線虫の中間宿主の可能性) 【緊急】確認地点も少なく、生息場所からも影響は軽微と考えられる 【対策】苗木等の移動時のチェック 【備考】標本CBM 【文献全般】116 【文献県内】-

軟体動物	コウラナメクジ科		影響度	緊急度
979	チャコウラナメクジ	生態学会100	B	B
	<i>Lehmannia valentiana</i>			

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】本州,四国,九州,琉球 【県内分布】各地。人里に広く生息 【形態・生態】TLca.3cm,受精後産卵し、孵化後幼貝から成貝に成長,食性:生きた植物体や落葉等,環境:陸域:開放地 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生),場所:成体と同じ,時期:主に春先 【国内侵入】210:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】210:昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】113(植物),310,270(家庭菜園),230(広東住血線虫の中間宿主) 【緊急】家庭菜園を中心に小面積の農地での被害が大きい 【対策】農作物・苗木等の移動時のチェック,薬剤散布 【備考】標本CBM 【文献全般】山口・波部(1955),202 【文献県内】稲葉(1975),黒住・岡本(1996)

軟体動物	コウラナメクジ科		影響度	緊急度
980	コウラナメクジ		C	C
	<i>Limax flavus</i>			

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】過去には全域とされる。1990年代にはほぼ絶滅 【形態・生態】TLca.8cm,受精後産卵し、孵化後幼貝から成貝に成長,食性:生きた植物体や落葉等,環境:陸域:開放地 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生),場所:成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】明治時代:- 【県内侵入】明治時代?:- 【影響】113(植物),310,270(家庭菜園),230(広東住血線虫の中間宿主) 【緊急】県内では、ほぼ絶滅したようである 【対策】農作物・苗木等の移動時のチェック 【備考】別名キイロナメクジ,現在は絶滅?県外産写真:黒住 【文献全般】山口・波部(1965) 【文献県内】D稲葉(1975),198

軟体動物	ノハラナメクジ科		影響度	緊急度
981	ノハラナメクジ		C	C
	<i>Deroceas laeve</i>			

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】本州,四国,九州,琉球,小笠原 【県内分布】各地。人里に広く生息 【形態・生態】TLca.2.5cm,受精後産卵し、孵化後幼貝から成貝に成長,食性:生きた植物体や落葉等,環境:陸域:開放地の主に水際等 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生),場所:成体と同じ,時期:不明 【国内侵入】210牧草に混入?:明治時代 【県内侵入】210:明治時代? 【影響】113(植物),310,270(家庭菜園),230(広東住血線虫の中間宿主) 【緊急】農作物に被害を与える可能性が高いが、その報告はないようである 【対策】農作物・苗木等の移動時のチェック,薬剤散布 【備考】標本CBM 【文献全般】350 【文献県内】85,227

軟体動物	ニワコウラナメクジ科		影響度	緊急度
982	ニワコウラナメクジ		C	C
	<i>Milax gagates</i>			

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】関東地方 【県内分布】県西部。記録・密度とも極めて少ない 【形態・生態】TLca.3cm,受精後産卵し、孵化後幼貝から成貝に成長,食性:生きた植物体や落葉等,環境:陸域:開放地 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生),場所:成体と同じ,時期:不明 【国内侵入】210:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】210:昭和時代(太平洋戦争以降)? 【影響】113(植物),310(農作物の可能性),270(家庭菜園での食害の可能性),230(広東住血線虫の中間宿主の可能性) 【緊急】発見例が極めて少ないので影響は現在のところ軽微である 【対策】農作物・苗木等の移動時のチェック 【備考】- 【文献全般】350 【文献県内】稲葉(1975)

軟体動物	コハクガイ科	影響度	緊急度
983	ヒメコハクガイ <i>Hawaii minuscula</i>	C	C

【原産】北アメリカ 【国内分布】日本全国 【県内分布】各地. 人里に広く生息 【形態・生態】SBca.0.2cm,受精後多分産卵し、孵化後幼貝から成貝に成長,食性:主に落葉等,環境:陸域 【繁殖】体内受精(直達発生),場所:成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】210:明治時代 【県内侵入】210:明治時代? 【影響】230(広東住血線虫の中間宿主の可能性) 【緊急】サイズ・食性から被害はほとんど出ないようである 【対策】苗木等の移動時のチェック 【備考】標本CBM,外来生物であるか未確定 【文献全般】黒田(1958),Kano(1996) 【文献県内】稲葉(1975),黒住・岡本(1996)

軟体動物	コハクガイ科	影響度	緊急度
984	コハクガイ <i>Zonitoides arboreus</i>	B	C

【原産】北アメリカ 【国内分布】本州,四国,九州,琉球 【県内分布】全域. 人里に広く生息 【形態・生態】SBca.0.5cm,受精後産卵し、孵化後成長,食性:落葉等,時に生きた植物体,環境:陸域:開放地 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生),場所:成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】250(資材に混入?):明治時代 【県内侵入】250(様々な資材に付着):明治時代? 【影響】113(植物),310(農作物の根等),270(家庭菜園),230(広東住血線虫?) 【緊急】広範囲に分布しているが、県内からは農業被害の報告はない 【対策】苗木等の移動時のチェック,薬剤散布 【備考】標本CBM 【文献全般】154 【文献県内】85,160

軟体動物	オナジマイマイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
985	コハクオナジマイマイ <i>Bradybaena pellucida</i>		B	B

【原産】九州 【国内分布】本州,四国 【県内分布】中・南部全域. 南部から着実に北部に分布を広げている 【形態・生態】SBca.2cm,受精後産卵し、孵化後幼貝から成貝に成長,食性:生きた植物体や落葉等,環境:陸域:開放地 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生),場所:成体と同じ,時期:主に春? 【国内侵入】-:- 【県内侵入】植木/苗木?:平成時代 【影響】113(植物),310(農作物(果樹を含む)),270(家庭菜園),230(広東住血線虫の中間宿主) 【緊急】近年、着実に分布域を拡大しており、農作物への被害もある 【対策】苗木等の移動時のチェック,薬剤散布や耕種的防除 【備考】標本CBM 【文献全般】- 【文献県内】224

軟体動物	オナジマイマイ科	影響度	緊急度
986	オナジマイマイ <i>Bradybaena similis</i>	C	C

【原産】東南アジア 【国内分布】本州,四国,九州,琉球,小笠原 【県内分布】全域. 各地で繁殖している 【形態・生態】SBca.2cm,受精後産卵し、孵化後幼貝から成貝に成長,食性:生きた植物体や落葉等,環境:陸域:開放地 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生),場所:成体と同じ,時期:冬季以外 【国内侵入】210:江戸時代 【県内侵入】210:江戸時代? 【影響】113(植物),310,270(家庭菜園),230(広東住血線虫の中間宿主) 【緊急】県内には広く分布するが、個体数は少なく、農業被害は少ないようである 【対策】苗木等の移動時のチェック,薬剤散布や耕種的防除 【備考】標本CBM 【文献全般】155 【文献県内】稲葉(1975),黒住・岡本(1996)

軟体動物	オナジマイマイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
987	ヒタチマイマイ <i>Euhadra brandtii brandtii</i>		C	C

【原産】本州,四国,九州(主に茨城県と千葉県利根川流域) 【国内分布】本州,四国,九州(主に茨城県と千葉県利根川流域) 【県内分布】千葉市中央区. 分布域を外れた地域で確認され、定着しているが、分布は拡大していない 【形態・生態】SBca.2.5cm,受精後産卵し、孵化後成長,食性:付着藻類や枯葉等,環境:陸域:林縁 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生),場所:成体と同じ,時期:主に春? 【国内侵入】210:- 【県内侵入】210:昭和時代最晩期 【影響】230(広東住血線虫?) 【緊急】定着は小面積だが、保護されている場所なので、この種だけの駆除は難しい 【対策】苗木等の移動時チェック 【備考】標本CBM 【文献全般】- 【文献県内】157

軟体動物	リンゴマイマイ科	影響度	緊急度
988	イスパニアマイマイ <i>Eobania vermiculata</i>	C	A

【原産】南ヨーロッパ 【国内分布】千葉県 【県内分布】浦安市。2ヶ所で繁殖 【形態・生態】SBca.3cm,受精後産卵し、孵化後幼貝から成貝に成長,食性:生きた植物体や落葉等,環境:陸域:開放地 【繁殖】体内受精(卵生/直達発生),場所:成体と同じ,時期:不明 【国内侵入】210:平成時代 【県内侵入】210:平成時代 【影響】310,270(家庭菜園),230(広東住血線虫の中間宿主の可能性) 【緊急】被害は出ていないが、生息地が限定されており、定着初期なので、根絶できる可能性もある 【対策】苗木等の移動時のチェック,薬剤散布や生息環境の改悪 【備考】- 【文献全般】340 【文献県内】340

軟体動物	イガイ科	影響度	緊急度
989	カワヒバリガイ <i>Limnoperna fortunei</i>	B	A

【原産】中国 【国内分布】琵琶湖,長良川,群馬等 【県内分布】利根川,栗山川,江戸川,長柄ダム古都辺取水場(2012年)。2006年度初確認.個体数増加・分散中 【形態・生態】SLca.2cm,プランクトン幼生が着底し成貝へ成長,懸濁物食,環境:淡水流水〜止水域 【繁殖】体外受精(放卵放精),定着は成体と同じ,時期:不明(夏中心?) 【国内侵入】110食用シジミ/真珠養殖母貝の輸入:平成時代 【県内侵入】400定着地からの幼生分散:平成時代 【影響】150(微細空間の創出),350(導水管等) 【緊急】駆除は困難.早期対策必要 【対策】導入シジミのチェック,繁殖期前の大規模な見つけ採り 【備考】- 【文献全般】173,194,202 【文献県内】95

軟体動物	イガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
990	コケガラス <i>Modiolus metcalfei</i>		B	B

【原産】有明海/黄海 【国内分布】東京湾 【県内分布】東京湾。定着は未確認だが、定着している可能性大 【形態・生態】SLca.6cm,プランクトン幼生が着底し、幼貝から成貝へ成長する,懸濁物食,環境:海域:上部浅海帯の砂/砂泥底 【繁殖】水中で体外受精(放卵放精),定着場所は成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】-:- 【県内侵入】210(潮干狩り用アサリに混入):平成時代 【影響】- 【緊急】定着していても初期の可能性があり、個体数増加を軽減できるかもしれない。足糸で付着するので、他生物等への影響大? 【対策】移入アサリのチェック,産地表示の明確化 【備考】標本CBM,野外逸脱的 【文献全般】- 【文献県内】-

軟体動物	イガイ科	影響度	緊急度
991	ムラサキイガイ <i>Mytilus galloprovincialis</i>	A	B

【原産】地中海 【国内分布】北海道,本州,四国,九州,琉球,小笠原 【県内分布】各地。各地で普通に生息 【形態・生態】SLca.6cm,プランクトン幼生が着底し、幼貝から成貝へ成長,懸濁物食,環境:海域:潮間帯から上部浅海帯の基質に足糸で付着 【繁殖】体外受精(放卵放精),場所:水中受精,産卵:春〜秋 【国内侵入】211:昭和時代(太平洋戦争以前) 【県内侵入】211:昭和時代(太平洋戦争以前) 【影響】121(在来種),340(船底や養殖施設などへ付着),350(発電所取排水管付着) 【緊急】IUCNワースト100,駆除等困難 【対策】バラスト水殺菌や付着生物チェック,塗料等による付着面の定着阻害 【備考】標本CBM 【文献全般】111,104,202 【文献県内】14

軟体動物	イガイ科	影響度	緊急度
992	コウロエンカワヒバリガイ <i>Xenostrobus securis</i>	B	C

【原産】オーストラリア/ニュージーランド 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】東京湾や各地の河口域。比較的高密度 【形態・生態】SLca.2.5cm,プランクトン幼生が着底し成貝へ成長,懸濁物食,環境:海域:汽水域から内湾潮間帯 【繁殖】水中で体外受精(放卵放精),定着は成体と同じ,時期:夏に着底直後の幼貝が多い 【国内侵入】210,211:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】210,211:昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】- 【緊急】駆除等が困難。足糸で付着するので、他生物等への影響大? 【対策】バラストタンク水殺菌,付着生物のチェック,塗料等による付着面への定着阻害 【備考】標本CBM 【文献全般】288,130,202 【文献県内】14

軟体動物	カワシンジュガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
993	カワシンジュガイ		C	A
	<i>Margaritifera laevis</i>			

【原産】日本 【国内分布】本州～北海道 【県内分布】現段階では定着なし。2010年4月手賀沼水系の河川で採取 【形態・生態】グロキディウム幼生をサケ科魚類に付着させ、その後、幼貝となり成長する。懸濁物食。魚の寄生虫の中間宿主。環境:淡水 【繁殖】体内受精(水中)定着場所は成体と同じ,時期:主に春に幼生を放出 【国内侵入】在来種:- 【県内侵入】150(タナゴの産卵母貝として放流?):平成時代 【影響】タナゴ類の産卵母貝 【緊急】- 【対策】持ち込み・放流の禁止 【備考】標本CBM 【文献全般】増田修(1994) 【文献県内】-

軟体動物	フタバシラガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
994	ウメノハナガイモドキ		C	B
	<i>Felaniella sowerbyi</i>			

【原産】有明海/黄海 【国内分布】東京湾 【県内分布】小櫃川河口干潟。極めて密度が高い 【形態・生態】SLca.0.5cm,プランクトン幼生が着底し、幼貝から成貝へ成長する,懸濁物食,環境:海域:潮間帯の砂底 【繁殖】体外受精(放卵放精),場所:受精は水中で、定着場所は成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】-:- 【県内侵入】210(潮干狩り用アサリ):平成時代 【影響】- 【緊急】- 【対策】バラストタンク水の「殺菌」や移入アサリのチェック,産地表示の明確化 【備考】標本CBM 【文献全般】- 【文献県内】52

軟体動物	イソシジミ科	国内外来生物	影響度	緊急度
995	ワスレイソシジミ		C	C
	<i>Nuttallia obscurata</i>			

【原産】- 【国内分布】北海道～九州 【県内分布】東京湾奥部。在来群が絶滅した後に、定着 【形態・生態】プランクトン幼生から、幼貝・成貝となる,環境:海域:潮間帯下部から潮下帯の砂泥底,懸濁物食 【繁殖】海中で体外受精 【国内侵入】在来種:- 【県内侵入】110(食用関連の廃棄):平成時代 【影響】110(魚貝類の餌),120(在来アサリ?) 【緊急】現段階では危険性は少ない 【対策】海中で体外受精のため対策困難 【備考】標本CBM(県外産),シオサザナミ科? 【文献全般】松隈(2010) 【文献県内】-

軟体動物	カワホトギスガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
996	イガイダマシ	要注意外来生物(情報不足)	C	C
	<i>Mytilopsis sallei</i>			

【原産】カリブ海南部 【国内分布】東京湾,瀬戸内海等 【県内分布】東京湾や内房。広範囲ではないが、湾奥部を中心に繁殖している 【形態・生態】SHca.2cm,プランクトン幼生が着底し、幼貝から成貝へ成長する,懸濁物食,環境:海域:主に上部浅海帯の基質に足糸で付着 【繁殖】体外受精(放卵放精),定着場所は成体と同じ,産卵:初夏～秋(大阪湾) 【国内侵入】210,211:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】210?,211:昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】121(在来種)340(資料付着) 【緊急】駆除等困難 【対策】バラスト水殺菌や付着生物チェック,付着面への定着阻害 【備考】標本CBM 【文献全般】64 【文献県内】14

軟体動物	フナガタガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
997	ウネナシトマヤガイ	県RDB:A	C	C
	<i>Trapezium liratum</i>			

【原産】本州-九州/中国沿岸 【国内分布】東京湾 【県内分布】江戸川放水路,新浜湖。局所的に個体数が多い 【形態・生態】SLca.2.5cm,プランクトン幼生が着底し、幼貝から成貝へ成長する,懸濁物食,環境:海域:潮間帯のカキ等の基質に足糸で付着 【繁殖】体外受精(放卵放精),場所:受精は水中で、定着場所は成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】210,211,西日本に生息:- 【県内侵入】210,211:昭和時代(太平洋戦争以降) 【影響】- 【緊急】- 【対策】バラストタンク水の「殺菌」や付着生物のチェック 【備考】国内外来種 【文献全般】- 【文献県内】159

軟体動物	シジミ科	影響度	緊急度
998	タイワンシジミ	要注意外来生物(情報不足)	B A
	<i>Corbicula fluminea</i>		

【原産】東アジア 【国内分布】本州,四国,九州,琉球 【県内分布】主に県北部. 着実に増加中 【形態・生態】SLca.2cm,懸濁物食,環境:淡水域:人里周辺の止水～緩流域 【繁殖】体内受精(放精:雄性発生),定着場所は成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】110:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】110:平成時代 【影響】121(在来マシジミ),340(ヤマトシジミ選別の手間,ヤマトシジミとの競合?) 【緊急】マシジミを駆逐する? 【対策】移入シジミのチェック,食用移入の遺棄防止,養殖蓄養の配慮,産地表示明確化 【備考】標本CBM,写真内水面水産研究所 【文献全般】増田ほか(1998),202 【文献県内】203,37

軟体動物	シジミ科	影響度	緊急度
999	カネツケシジミ	要注意外来生物(情報不足)	B A
	<i>Corbicula fluminea form insularis</i>		

【原産】東アジア 【国内分布】本州,四国,九州,琉球 【県内分布】各地. 1990年代には多かったが,近年はやや減少傾向 【形態・生態】SLca.2cm,体内で稚貝となり,体外放出され成長する,懸濁物食,環境:淡水域:人里周辺の緩流～止水域 【繁殖】体内受精(放精:雄性発生),定着は成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】110:昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】110:平成時代 【影響】121(マシジミ),142(マシジミ) 【緊急】着実に分布を広げており,在来種のマシジミを駆逐する可能性がある 【対策】移入シジミのチェック,食用移入の遺棄防止,養殖蓄養の配慮,産地表示明確化 【備考】標本CBM 【文献全般】187,170,202 【文献県内】162

軟体動物	シジミ科	影響度	緊急度
1000	ウスシジミ		B B
	<i>Corbicula papyracea</i>		

【原産】朝鮮半島 【国内分布】関東地方等 記録:利根川,霞ヶ浦,北浦等 【県内分布】利根川河口. 河口域でやや低密度で生息 【形態・生態】SLca.2cm,幼貝から成貝へ成長する,懸濁物食,環境:汽水域:河口部の潮間帯砂/砂泥底 【繁殖】体外受精?,場所:受精は水中で,定着場所は成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】110:平成時代 【県内侵入】110:平成時代 【影響】121(ヤマトシジミ),340(ヤマトシジミ選別の手間増加) 【緊急】- 【対策】移入シジミのチェック,食用移入の遺棄防止,養殖蓄養の配慮,ヤマトシジミ混獲時の除去,産地表示の明確化 【備考】- 【文献全般】199 【文献県内】199

軟体動物	シジミ科	影響度	緊急度
1001	ヤマトシジミ種群		C B
	<i>Corbicula sp. cf. japonica</i>		

【原産】東アジア 【国内分布】東京湾 【県内分布】東京湾奥部/東京都側. 県側の生息確認なしだが,ほぼ確実に定着 【形態・生態】SLca.2cm,プランクトン幼生が着底し,成貝へ成長する,懸濁物食,環境:汽水域:内湾の潮間帯砂/砂泥底 【繁殖】水中で体外受精(放卵放精),定着場所は成体と同じ,時期:産卵期は5-8月 【国内侵入】110:平成時代 【県内侵入】110:平成時代 【影響】121(ヤマトシジミ) 【緊急】現在は在来ヤマトシジミ絶滅域で問題は少ないが,今後の注視が必要 【対策】移入シジミのチェック,食用移入遺棄防止,養殖蓄養の配慮,産地表示明確化 【備考】標本CBM,写真:内水面水産研究所 【文献全般】根本ほか(2003) 【文献県内】-

軟体動物	シジミ科	影響度	緊急度
1002	シジミ属の一種		C A
	<i>Corbicula sp. cf. largillierti</i>		

【原産】東アジア 【国内分布】千葉県 【県内分布】県北西部. 多少不確実であるが,タイワンシジミとは異なるものが市原市等で確認 【形態・生態】SLca.2.5cm,懸濁物食,環境:淡水域:人里周辺の緩流～止水域 【繁殖】体内受精(放精),定着場所は成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】110:平成時代 【県内侵入】110:平成時代 【影響】121(在来マシジミ) 【緊急】着実に分布を広げており,在来種のマシジミを駆逐する可能性がある. まだ定着地は少ないようである 【対策】移入シジミのチェック,食用移入の遺棄防止,養殖蓄養の配慮,産地表示の明確化 【備考】標本CBM 【文献全般】根本ほか(2003) 【文献県内】-

軟体動物	マルスダレガイ科	影響度	緊急度
1003	ホンビノスガイ <i>Mercenaria mercenaria</i>	B	C

【原産】北アメリカ東岸 【国内分布】東京湾 【県内分布】東京湾. 着実に、生息域・個体数を増加させている 【形態・生態】SLca.8cm, プランクトン幼生が着底し、幼貝から成貝へ成長する, 懸濁物食, 環境: 海域: 潮間帯から上部浅海帯の砂/砂泥底 【繁殖】体外受精(放卵放精), 場所: 受精は水中で、定着場所は成体と同じ, 時期: 不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】110食用個体の遺棄: 平成時代 【県内侵入】400能動分散: 平成時代 【影響】- 【緊急】個体数増加が大きく、影響がでるのかもしれない 【対策】食用移入種の遺棄防止 【備考】標本CBM, 漁業対象種 【文献全般】樋渡・木幡(2005) 【文献県内】161, 206

軟体動物	マルスダレガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1004	ハマグリ <i>Meretrix lusoria</i>	県RDB:X	B	B

【原産】有明海/黄海 【国内分布】主に九州周辺, 東京湾 【県内分布】東京湾. 在来個体群は絶滅. 外来群が時々発見される. 定着可能性高 【形態・生態】SLca.5cm, プランクトン幼生が着底し、成貝へ成長, 懸濁物食, 環境: 海域: 潮間帯～上部浅海帯の砂/砂泥底 【繁殖】水中で体外受精(放卵放精), 産卵は6-10月 【国内侵入】210:- 【県内侵入】210: 平成時代 【影響】- 【緊急】- 【対策】移入ハマグリ・アサリのチェック, 食用移入の遺棄防止, 養殖蓄養の配慮, 産地表示の明確化 【備考】標本CBM, 野外逸脱的. 東京湾在来個体との遺伝的差異の調査が必要 【文献全般】- 【文献県内】-

軟体動物	マルスダレガイ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1005	シナハマグリ <i>Meretrix petechialis</i>	要注意外来生物(情報不足), 生態学会100	C	A

【原産】黄海 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】東京湾. 東京湾で確認されるが、未定着と推定 【形態・生態】SLca.8cm, プランクトン幼生が着底し成長, 懸濁物食, 環境: 海域: 潮間帯～上部浅海帯の砂/砂泥底 【繁殖】水中で体外受精(放卵放精), 定着場所は成体と同じ, 時期: 不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】110: 昭和時代(太平洋戦争以降) 【県内侵入】110: 平成時代 【影響】- 【緊急】定着可能性は低いだが、もし定着した場合、初期の根絶等が可能? 【対策】移入ハマグリ・アサリのチェック, 食用移入の遺棄防止, 養殖蓄養の配慮, 産地表示の明確化 【備考】標本CBM, 定着すれば漁業対象種 【文献全般】202 【文献県内】227

軟体動物	マルスダレガイ科	影響度	緊急度
1006	タイワンハマグリ <i>Meretrix sp.</i>	C	C

【原産】台湾 【国内分布】- 【県内分布】東京湾. 東京湾(富津市, 千葉市)で生きた個体や殻が確認 【形態・生態】環境: 海域: 潮間帯から上部浅海帯の砂/砂泥底, 懸濁物食 【繁殖】体外受精(放卵放精), プランクトン幼生が着底, 定着場所は成体と同じ, 時期: 不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】110(潮干狩りの放流)今後の定着は不明ながら、放流は今後も行われる可能性あり: 平成時代 【県内侵入】110(潮干狩りの放流): 平成時代 【影響】軽微 【緊急】- 【対策】移入ハマグリ・アサリのチェック, 食用移入の遺棄防止; 養殖・蓄養の配慮 【備考】標本CBM, 定着すれば漁業対象種 【文献全般】- 【文献県内】-

軟体動物	マルスダレガイ科	国内外来および国外外	影響度	緊急度
1007	アサリ <i>Ruditapes philippinarum</i>		B	A

【原産】有明海/黄海 【国内分布】北海道, 本州, 九州, 四国, 移入(東京湾等) 【県内分布】東京湾. 確実な繁殖報告なしだが、繁殖可能性高 【形態・生態】SLca.3cm, プランクトン幼生が着底し、幼貝から成貝へ成長する, 懸濁物食, 環境: 海域: 潮間帯～上部浅海帯の砂/砂泥底 【繁殖】水中で体外受精(放卵放精), 定着場所は成体と同じ, 時期: 春, 秋 【国内侵入】110:- 【県内侵入】110: 平成時代 【影響】141(在来アサリ), 340(混入による在地個体群の価格の低下等) 【緊急】- 【対策】移入アサリのチェック, 食用移入の遺棄防止, 養殖蓄養の配慮, 産地表示の明確化 【備考】国外及び国内外来種 【文献全般】- 【文献県内】-

軟体動物	イワホリガイ科	影響度	緊急度
1008	ウスカラシオツガイ	C	C
<i>Ptericola</i> sp. cf. <i>lithophaga</i>			

【原産】ヨーロッパ? 【国内分布】東京湾,三河湾,瀬戸内海等 【県内分布】東京湾. 個体数を変動させながらも,安定した個体群を維持している 【形態・生態】SHca.2cm,プランクトン幼生が着底し,幼貝から成貝へ成長する,懸濁物食,環境:海域:潮間帯から上部浅海帯の基質上 【繁殖】体外受精(放卵放精),場所:受精は水中で,定着場所は成体と同じ,時期:不明(冬季には行わない?) 【国内侵入】211?:平成時代 【県内侵入】211:平成時代 【影響】340(漁業関係資材への付着) 【緊急】プランクトン幼生を出すので,駆除困難 【対策】バラスト水殺菌や付着生物チェック 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】225,227

節足動物	ヒメハダニ科	影響度	緊急度
1009	ランヒメハダニ	C	B
<i>Tenuipalpus pacificus</i>			

【原産】台湾,東南アジア,欧州,アメリカ,中南米など 【国内分布】- 【県内分布】山田町(ハウス内)野外では未確認,コショウランを栽培している農家で発生が確認された 【形態・生態】植食性,環境:陸域 【繁殖】繁殖場所:施設(ファレノプシス) 【国内侵入】-:1991年(三重県) 【県内侵入】-:- 【影響】310(ファレノプシスの葉) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】35

節足動物	ハダニ科	影響度	緊急度
1010	ルイスアケハダニ	C	B
<i>Eotetranychus lewisi</i>			

【原産】フィリピン,アフリカ,アメリカ大陸,ハワイ 【国内分布】- 【県内分布】大栄町,東庄町(ハウス内)野外では未確認,香取のポインセチアを栽培している農家で発生が確認された 【形態・生態】植食性,環境:陸域 【繁殖】繁殖場所:施設(ファレノプシス)ポインセチア 【国内侵入】-:1997年(奈良県) 【県内侵入】?侵入害虫かどうか不明:2001年に香取のポインセチアで発生が確認された 【影響】310(ポインセチアの葉) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

節足動物	ハダニ科	影響度	緊急度
1011	マンゴーツメハダニ	A	C
<i>Oligonychus coffeae</i> (Nietner)			

【原産】全世界の熱帯,亜熱帯 【国内分布】沖縄県,鹿児島県ほか 【県内分布】館山市,果樹園(施設) 【形態・生態】TL♀429μm,♂390μm,年間世代数max22.卵~成虫まで14~15日.マンゴー,チャ,コーヒー他に寄生.硬化した葉表に好んで寄生.卵は主脈沿いに多く産卵.食性:広食性 【繁殖】マンゴー等果樹などの葉上,通年繁殖 【国内侵入】230(苗の移動):- 【県内侵入】-:2009年 【影響】310(マンゴー) 【緊急】高温性の施設栽培果樹園で定着,被害拡大する懸念があり 【対策】苗導入時の寄生有無確認,発生後は薬剤防除 【備考】- 【文献全般】植物防疫(51).26-29(1997.1),植物防疫(62).642-644(2008.12) 【文献県内】30

節足動物	ハダニ科	影響度	緊急度
1012	モクセイマルハダニ	C	B
<i>Panonychus osmanthi</i>			

【原産】中国 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】松戸市,庭木のモクセイ類で発生する 【形態・生態】植食性,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】?侵入害虫かどうか不明:- 【影響】310(モクセイの葉に被害) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】35

節足動物	フシダニ科		影響度	緊急度
1013	イチジクモンサビダニ		C	C
	<i>Aceria ficus</i>			

【原産】- 【国内分布】本州 【県内分布】一部,家庭果樹用として植えられているイチジクで発生が確認されたことがある 【形態・生態】植食性,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-: 【県内侵入】?侵入害虫かどうか不明:- 【影響】310(イチジク) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

節足動物	フシダニ科		影響度	緊急度
1014	トマトサビダニ	生態学会100	C	B
	<i>Aculops lycopersici</i>			

【原産】- 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】全域(ハウス内)野外では未確認,減農薬のトマトでしばしば発生する 【形態・生態】植食性,環境:陸域 【繁殖】時期:周年 【国内侵入】-:1986年に沖縄で初めて確認 【県内侵入】-:1995年に松戸のトマト農家で発生 【影響】310(トマト) 【緊急】- 【対策】薬剤防除 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

節足動物	フジツボ科		影響度	緊急度
1015	タテジマフジツボ	要注意外来生物(情報不足)	D	C
	<i>Balanus amphitrite</i>			

【原産】不明(?ハワイ,?フィリピン) 【国内分布】北海道~九州 【県内分布】千葉県沿岸全域,千葉県沿岸の内湾の特に港湾施設岩壁に非常に多数生息 【形態・生態】直径ca.10-15mm,内湾潮間帯~潮下帯,海中懸濁物食,環境:海域 【繁殖】場所:内湾潮間帯~潮下帯,時期:ほぼ周年産卵がおこなわれる 【国内侵入】不明だがおそらく船によって運ばれた(船底かバラスト水):明治以降(1935年に相模沖の記録がある) 【県内侵入】不明だがおそらく船によって運ばれた(船底かバラスト水):明治以降? 【影響】340(船底汚損) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】岩崎ほか(2004) 【文献県内】朝倉(1992)

節足動物	フジツボ科		影響度	緊急度
1016	アメリカフジツボ		D	C
	<i>Balanus eburneus</i>			

【原産】アメリカ合衆国北部東岸~南米北岸 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】東京湾沿岸,東京湾奥に多数生息 【形態・生態】直径ca.15mm,内湾潮下帯,海中懸濁物食,環境:海域 【繁殖】場所:内湾潮下帯,時期:ほぼ周年産卵がおこなわれる 【国内侵入】不明だがおそらく船によって運ばれた(船底かバラスト水):明治以降(1950年) 【県内侵入】不明だがおそらく船によって運ばれた(船底かバラスト水):おそらく1950~1960年の間 【影響】- 【緊急】- 【対策】バラスト水の殺菌 【備考】- 【文献全般】14,岩崎ほか(2004) 【文献県内】14

節足動物	フジツボ科		影響度	緊急度
1017	ヨーロッパフジツボ		D	C
	<i>Balanus improvisus</i>			

【原産】ヨーロッパ大西洋岸 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】東京湾沿岸,銚子,東京湾内に生息 【形態・生態】直径ca.10mm,内湾潮下帯,海中懸濁物食,環境:海域 【繁殖】場所:内湾潮下帯,時期:ほぼ周年産卵がおこなわれる 【国内侵入】不明だがおそらく船によって運ばれた(船底かバラスト水):明治以降(1952年) 【県内侵入】不明だがおそらく船によって運ばれた(船底かバラスト水):1960年頃? 【影響】- 【緊急】- 【対策】バラスト水の殺菌 【備考】- 【文献全般】14,岩崎ほか(2004) 【文献県内】14

節足動物	フジツボ科	影響度	緊急度
1018	ココポーマアカフジツボ <i>Megabalanus coccopoma</i>	D	C

【原産】東太平洋(メキシコ〜エクアドル) 【国内分布】岩手県〜高知県,瀬戸内海 【県内分布】高い,全沿岸域に出現 【形態・生態】SBmax35mm,海中懸濁物食,環境:海域 【繁殖】浮遊幼生,繁殖場所:潮下帯岩礁,浮き・ブイ,船体 【国内侵入】船舶に付着して運ばれた可能性が高い:1981年 【県内侵入】不明だがおそらく船によって運ばれた(船底かバラスト水):不明 【影響】340(船底汚損) 【緊急】- 【対策】船体汚損の防止,バラスト水の殺菌 【備考】- 【文献全般】Yamaguti et al. (2009) 【文献県内】Yamaguti et al. (2009)

節足動物	オカダンゴムシ科	影響度	緊急度
1019	オカダンゴムシ <i>Armadillidium vulgare</i>	D	C

【原産】ヨーロッパ(地中海地域と考えられる) 【国内分布】全国的に分布(関東・北陸以南に多い) 【県内分布】全県的に人為の及ぶ場所にごく普通,すでにかなり多い 【形態・生態】TLmax14mm,寿命不詳,雑食(落葉,生の植物,他の虫およびその遺体),環境:陸域,人為の及ぶ場所 【繁殖】殆ど同じ形態(育房を出たばかりの幼者の歩行付属肢は1対少ない),場所:人為の及ぶ場所,時期:春〜秋に産卵 【国内侵入】不明:明治以降 【県内侵入】不明:不明 【影響】落葉の分解に役立つ,生の植物や虫を食べる,270(園芸作物),200(不快害虫) 【緊急】- 【対策】侵入防止,殺虫剤 【備考】- 【文献全般】209,211 【文献県内】210

節足動物	ナガワラジムシ科	影響度	緊急度
1020	ナガワラジムシ <i>Haplophthalmus danicus</i>	D	C

【原産】ヨーロッパ(地中海地域と考えられる) 【国内分布】全国的に分布(関東・北陸以南に多い増加傾向にあると思われる) 【県内分布】全県的に公園や二次林など,増加傾向にあると考えられる 【形態・生態】TLmax4mm,寿命不詳,食性:主に落葉,環境:陸域,公園や二次林,林縁など 【繁殖】殆ど同じ形態(育房を出たばかりの幼者の歩行付属肢は1対少ない),場所:公園や二次林など,時期:不明 【国内侵入】不明:明治以降 【県内侵入】不明:不明 【影響】落葉の分解に役立つ 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】209,211 【文献県内】210

節足動物	ワラジムシ科	影響度	緊急度
1021	ホソワラジムシ <i>Porcellionides pruinosus</i>	D	C

【原産】ヨーロッパ(地中海地域と考えられる) 【国内分布】全国的に分布(関東・北陸以南に多い) 【県内分布】全県的に人為の及ぶ場所,拡大している観察例はない 【形態・生態】TLmax13mm,寿命不詳,食性:主に落葉,環境:陸域人為の及ぶ場所 【繁殖】殆ど同じ形態(育房を出たばかりの幼者の歩行付属肢は1対少ない),場所:人為の及ぶ場所,時期:春〜秋に産卵 【国内侵入】不明:明治以降 【県内侵入】不明:不明 【影響】落葉の分解に役立つ,200(不快害虫) 【緊急】- 【対策】侵入防止,殺虫剤 【備考】- 【文献全般】209,211 【文献県内】210

節足動物	ワラジムシ科	影響度	緊急度
1022	オビワラジムシ <i>Porcellio dilatatus</i>	D	C

【原産】ヨーロッパ(地中海地域と考えられる) 【国内分布】関東地方などに希 【県内分布】館山市で報告例有り,拡大している観察例はない 【形態・生態】TLmax16mm,寿命不詳,食性:主に落葉,環境:陸域,人為の及ぶ場所 【繁殖】殆ど同じ形態(育房を出たばかりの幼者の歩行付属肢は1対少ない),場所:人為の及ぶ場所,時期:不明 【国内侵入】不明:明治以降 【県内侵入】不明:不明 【影響】落葉の分解に役立つ 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】209,211 【文献県内】210

節足動物	ワラジムシ科	影響度	緊急度
1023	ワラジムシ <i>Porcellio scaber</i>	D	C

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】全国的に分布(中部以北に多いが南西日本に分布を拡大中) 【県内分布】全県的に人為の及ぶ場所にごく普通,すでにかなり多く,かつ増加傾向と考えられる 【形態・生態】TLmax12mm,寿命不詳,食性:主に落葉,環境:陸域人為の及ぶ場所,水辺にもしばしば出現 【繁殖】殆ど同じ形態(育房を出たばかりの幼者の歩行付属肢は1対少ない),場所:人為の及ぶ場所,時期:春~秋に産卵 【国内侵入】不明:明治以降 【県内侵入】不明:不明 【影響】落葉の分解に役立つ,200(不快害虫) 【緊急】- 【対策】侵入防止,殺虫剤 【備考】- 【文献全般】209,211 【文献県内】210

節足動物	マミズヨコエビ科	影響度	緊急度
1024	フロリダマミズヨコエビ <i>Crangonyx floridanus</i>	C	B

【原産】北米(東海岸) 【国内分布】本州,四国,九州(一部未公表) 【県内分布】古利根沼,都川,鹿島川,栗山川,一宮川,多い場所では,100個体/m2をこえる.2006年の段階では,北総地域に分布拡大中 【形態・生態】BW数-数10mg,汚水や高水温に耐性,やや富栄養化した河川・湖沼で採集,デトリタス食,環境:淡水域 【繁殖】雌が包卵,場所:河川では礫底,湖沼では水草帯,時期:冬期以外 【国内侵入】230(観賞水草?):1980年代 【県内侵入】230(観賞水草?):1980年代 【影響】120(底生動物),280(水生植物を分解し植生を一変?) 【緊急】体サイズが小さいので一度侵入すると除去は困難 【対策】- 【備考】- 【文献全般】184,328 【文献県内】184,37

節足動物	ヌマエビ科	影響度	緊急度
1025	カワリヌマエビ属の一種 <i>Neocaridina</i> sp.	DD	C

【原産】中国 【国内分布】埼玉県,東京都,千葉県(形態的によく一致する標本) 【県内分布】夷隅川など,詳細は不明 【形態・生態】TLmax40mm,近縁のミナミヌマエビの場合:産卵3月上旬~9月.約2ヶ月で性成熟.産卵数最大約140個.飼育での寿命は2年以上,食性:付着珪藻等,環境:淡水域 【繁殖】直達発生,場所:流れの緩やかな小河川,水田の用水路,時期:春~秋 【国内侵入】150(おそらく釣り餌用):不明 【県内侵入】150(おそらく釣り餌用):不明 【影響】- 【緊急】- 【対策】個体の遺棄を防ぐ 【備考】分類は未確定.交雑可能性あり,県内採集標本は*N. denticulata sinensis*あるいは*N. heteropoda*? 【文献全般】林(2007) 【文献県内】-

節足動物	アメリカザリガニ科	影響度	緊急度
1026	アメリカザリガニ <i>Procambarus clarkii</i>	C	C

要注意外来生物(適否検討),生態学会100

【原産】アメリカ東南部 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】県内全域,多い.場所によっては増加傾向 【形態・生態】TL120mmに達する,河川,池沼,水田,用水路などの止水や流れの緩やかな泥底に生息する.満1年で体長約40mm,2年で約60mmに成長し,成熟する,雑食性,環境:淡水域 【繁殖】直達発生,場所:生息可能な場所,時期:冬期を除く 【国内侵入】ウシガエルの餌料として移入:1927年 【県内侵入】不明:不明 【影響】113,310(水稻の食害,畦道破壊) 【緊急】定着してから長時間が経過し,人間生活との関連も深く,評価は容易ではない 【対策】侵入防止,駆除 【備考】- 【文献全般】202,16,253 【文献県内】-

節足動物	ザリガニ科	影響度	緊急度
1027	ウチダザリガニ <i>Pacifastacus leniusculus</i>	D	C

特定外来生物,生態学会100

【原産】アメリカ合衆国北西部 【国内分布】北海道,福島県,栃木県,千葉県,長野県,滋賀県 【県内分布】利根川水系,出現は限定的だが,定着の可能性はある 【形態・生態】TL約150mm,比較的冷涼な淡水環境に生息する.寿命は6年ぐらいと考えられる,雑食性,環境:淡水域 【繁殖】直達発生 【国内侵入】形態的には北海道,福島産の個体群に類似し,これらの地域由来の可能性が高い.要因としては,飼育個体の遺棄が可能性として指摘される:1926年 【県内侵入】不明:2005年頃 【影響】110 【緊急】- 【対策】外来生物法の遵守,駆除 【備考】- 【文献全般】Usioほか(2007)陸水学雑誌68:471-482 【文献県内】尾崎ほか(2011)千葉生多セ研報3:65-67.

節足動物	イッカクモガニ科	影響度	緊急度
1028	イッカクモガニ <i>Pyromaia tuberculata</i>	D	C

【原産】北米太平洋岸のサンフランシスコから南米コロンビアまで 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】東京湾沿岸, 東京湾内に非常に多数生息 【形態・生態】CWca. 25mm, 内湾潮下帯, 海底堆積有機物食, 環境: 海域 【繁殖】夏期で1ヶ月, 冬季で3ヶ月で成熟し, 1回の産卵後直ちに次のバッチを産卵する, 場所: 内湾潮下帯, 時期: ほぼ周年 【国内侵入】210(船底)か211?: 明治以降 【県内侵入】210(船底)か211?: 1970年頃? 【影響】120(在来の小型カニ類) 【緊急】- 【対策】バラスト水の殺菌 【備考】- 【文献全般】14,97,53 【文献県内】53

節足動物	ガザミ科	要注意外来生物(情報不足), 生態学会100	影響度	緊急度
1029	チチュウカイミドリガニ <i>Carcinus aestuarii</i>		C	B

【原産】地中海 【国内分布】神奈川県, 東京都, 浜名湖など 【県内分布】東京湾沿岸, 東京湾内に多数生息 【形態・生態】CWca. 50-60mm, 内湾潮下帯, 寿命3年以上, 食性: 貝類, 甲殻類, ゴカイ類など, 環境: 海域 【繁殖】幼生着底3月頃, 稚ガニは春～夏に成長, 秋から繁殖, 場所: 内湾潮下帯, 時期: 冬期を中心とした11月～5月 【国内侵入】210(船底)か211: 明治以降(1984年) 【県内侵入】210(船底)か211: 1959年頃(浦安採集記録) 【影響】112(カニ類, 貝類), 340(ワタリガニ類, 二枚貝?) 【緊急】- 【対策】バラスト水の殺菌 【備考】きわめて近縁の *Carcinus maenas* が, 世界中に侵入 【文献全般】14,97,53 【文献県内】53

昆虫類	ゴキブリ科	影響度	緊急度
1030	クロゴキブリ <i>Periplaneta fuliginosa</i>	C	C

【原産】不明 【国内分布】太平洋岸東京附近, 西方奄美大島, 伊豆諸島 【県内分布】多い 【形態・生態】♂TL25mm内外, 翅長23-25mm, ♀TL25-30mm, 翅長25mm, 幼虫期6-12ヵ月, 幼虫越冬. 成虫は夏出現 【繁殖】時期: 5-10月. 1卵鞘中の卵数は22-26個程度. 卵鞘を一生で約20個産む. 産卵場所は引出しや戸棚の内側など 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】200(家屋内害虫) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】13,274 【文献県内】-

昆虫類	マダラゴキブリ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1031	サツマゴキブリ <i>Opisthoplatia orientalis</i>		DD	C

【原産】- 【国内分布】四国足摺岬, 九州南部, 伊豆八丈島, 和歌山, 愛知, 静岡 【県内分布】鴨川市, 富津市, 館山市, 鴨川市では定着が確認されている 【形態・生態】TL♂25mm ♀30-35mm, 幼虫で越冬し6月頃成虫となる. 環境: 陸域 【繁殖】卵胎生, 繁殖場所: 朽ち木の隙間に数頭ひそむ. 幼生は水中を好む 【国内侵入】-:- 【県内侵入】200?:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】近年, 和歌山, 愛知, 静岡で生息が確認されている 【文献全般】360 【文献県内】152, 山崎秀雄(2010)千葉生物誌60(1):45., 山崎秀雄(2011)千葉生物誌60(2):54-55.

昆虫類	チャバネゴキブリ科	生態学会100	影響度	緊急度
1032	チャバネゴキブリ <i>Blattella germanica</i>		C	C

【原産】- 【国内分布】北海道, 南日本には少ない 【県内分布】多い 【形態・生態】♂TL12mm, 翅長10mm, ♀TL11mm, 翅長11mm, 環境: 飲食店, 住宅など 【繁殖】一生に3-7個の卵鞘を産む. 1卵鞘中の卵数は40-50個. 20℃以下では産卵が出来ない 【国内侵入】-:- 江戸末期頃 【県内侵入】-:- 【影響】200(室内害虫) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】13,274 【文献県内】-

昆虫類	マツムシ科	影響度	緊急度
1033	アオマツムシ <i>Calyptotrypus hibinonis</i>	C	C

【原産】中国 【国内分布】福島県以西(南西諸島や九州南部以外) 【県内分布】全域。1970～1980代に分布拡大 その後現在に至るまで分布範囲はあまり拡大していない 【形態・生態】TL23-24mm,翌春孵化した幼虫は8月下旬～9月下旬に羽化。発育ゼロ点10℃,有効積算温度1300日℃,草食,環境:陸域 【繁殖】産卵は10月下旬まで,場所:年1回の発生。小枝の組織内に産まれた卵で越冬,時期:産卵8～10月 【国内侵入】210(果樹類苗木):1898年 【県内侵入】400:- 【影響】310(ナシ) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】90,234 【文献県内】35

昆虫類	クギヌキハサミムシ科	影響度	緊急度
1034	スジハサミムシモドキ <i>Elaunon bipartitus</i>	DD	C

【原産】亜熱帯～熱帯地域 【国内分布】群馬,栃木,埼玉,茨城,千葉 【県内分布】市川市,流山市,印西市,成田市 【形態・生態】TL25-30mm,成虫越冬,食性:腐蝕植物や昆虫の死骸など。生きた昆虫も 【繁殖】- 【国内侵入】-:1998年(栃木県) 【県内侵入】-:2010年 【影響】113(ギニアキビ) 【緊急】- 【対策】- 【備考】2010年10月 印西市初採集(宮内博至未発表) 【文献全般】314,229,205 【文献県内】180

昆虫類	ゲンバウムシ科	影響度	緊急度
1035	アワダチソウゲンバイ <i>Corythucha marmorata</i>	C	C

【原産】北米 【国内分布】本州,四国 【県内分布】- 【形態・生態】TL:約3mm,出現期:7～10月,セイタカアワダチソウ,オオアワダチソウ,オオオナモミ,ナス,キク,ヒマワリ,サツマイモ等の汁 【繁殖】年3回 【国内侵入】200:2000年(兵庫県西宮市) 【県内侵入】400?:2005年(流山市) 【影響】310(キク,甘藷,ナスなどの可能性) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】333,91 【文献県内】313,284

昆虫類	ゲンバウムシ科	影響度	緊急度
1036	プラタナスゲンバイ <i>Corythucha ciliata</i>	C	C

【原産】北米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】市川市,八千代市 【形態・生態】TL3.5mm,食性:プラタナス,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】2001年に愛知県名古屋市中で発生が確認されて以来、日本各地で確認されている 【文献全般】91,山田量崇・行成正昭(2009)徳島県立博物館研究報告(19):51-54 【文献県内】352

昆虫類	ゲンバウムシ科	影響度	緊急度
1037	ヘクソカズラゲンバイ <i>Dulinius conchatus</i>	DD	C

【原産】東南アジア 【国内分布】本州(関東以西),四国,九州北部 【県内分布】市川市 【形態・生態】TL2.6-3.2mm,年3回,食性:アカネ科 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】1996年に大阪府池田市で確認され、その後佐賀,福岡,岡山,愛媛,徳島,兵庫(洲本市)などで確認されている 【文献全般】91,山田量崇・行成正昭(2009)徳島県立博物館研究報告(19):51-54 【文献県内】山崎秀雄私信(引用文献不明)

昆虫類	サシガメ科		影響度	緊急度
1038	ヨコヅナサシガメ		DD	C
	<i>Agriosphodrus dohmi</i>			

【原産】中国 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】全域に拡大中 【形態・生態】TL16-24mm,サクラ・エノキなどに群集して越冬.5月頃成虫.環境:陸域 【繁殖】時期:6-7月 【国内侵入】250(積み荷にまぎれて侵入):1928年九州 【県内侵入】250:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】360,147 【文献県内】281

昆虫類	ヘリカメムシ科		影響度	緊急度
1039	マツヘリカメムシ		DD	C
	<i>Leptoglossus occidentalis</i>			

【原産】北米 【国内分布】関東 【県内分布】県北西部,多い 【形態・生態】マツ類の新芽,球果などから吸汁(北米) 【繁殖】TL18-20mm 【国内侵入】不明:2008年 【県内侵入】不明:2008年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】91 【文献県内】256

昆虫類	ヘリカメムシ科	国内外来	影響度	緊急度
1040	ミナミトゲヘリカメムシ		C	C
	<i>Paradasynus spinosus</i>			

【原産】日本(沖縄諸島) 【国内分布】本州,四国,九州,琉球 【県内分布】- 【形態・生態】TL16-23mm,南方系のカメムシ寄主植物:シロモジ,クスノキ(クスノキ科),ミカンの果実を吸汁 【繁殖】- 【国内侵入】300?:1973-1975年にかけて鹿児島県に発生 【県内侵入】300?:2010年? 【影響】310(柑橘類) 【緊急】- 【対策】殺虫剤散布 【備考】- 【文献全般】361 【文献県内】362

昆虫類	カメムシ科		影響度	緊急度
1041	ミナミアオカメムシ		A	A
	<i>Nezara viridula</i>			

【原産】東南アジア熱帯地方 【国内分布】西日本各地 【県内分布】勝浦市,館山市.水田,果樹園,畑作物圃場 【形態・生態】TL12~16mm,環境:陸域,年3~4回発生.4月~越冬成虫が活動開始.10月上旬~イネ科雑草の株元で越冬.広食性(豆類,イネ他各種作物の子実) 【繁殖】有性生殖,時期:5~10月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】300:2009年 【影響】310(豆類,イネ他各種作物の子実を吸汁加害) 【緊急】発生量に年次間差あり,発生時期予測しにくい.防除適期の判定困難 【対策】薬剤防除,南地域(定着)では的確な予察必要 【備考】冬期の平均気温が5℃以下では越冬できない.温暖化により,分布拡大 【文献全般】植物防疫.(53).30-34 【文献県内】32

昆虫類	セミ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1042	クロイワツクツク		DD	C
	<i>Meimuna kuroiwae</i>			

【原産】原産地不明 【国内分布】鹿児島県大隈半島,種子島,屋久島,奄美大島,喜界島,沖縄本島(沖縄本島以北) 【県内分布】白浜町.わずかずつ生息域を拡大中 【形態・生態】TL♂23-37,♀25-34mm,TL37-52mm,人里近くの樹林にみられる.成虫期8月中旬-11月下旬,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】230:- 【県内侵入】230:1972,1973年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】243 【文献県内】-

昆虫類	アオバハゴロモ科	影響度	緊急度
1043	キノカワハゴロモ <i>Atracis formosana</i>	DD	C

【原産】台湾 【国内分布】本州～九州,南西諸島 【県内分布】白井市,千葉市,鴨川市 【形態・生態】- 【繁殖】- 【国内侵入】不明:- 【県内侵入】不明:1990年代後半? 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】5

昆虫類	アブラムシ科	影響度	緊急度
1044	ジンチョウゲヒゲナガアブラムシ <i>Acyrtosiphon argus</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】- 【県内分布】鎌ヶ谷市,市川市,市原市 【形態・生態】- 【繁殖】- 【国内侵入】-:1989年につくば市で発見された 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】35

昆虫類	アブラムシ科	影響度	緊急度
1045	キョウチクトウアブラムシ <i>Aphis nerii</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】北海道～九州 【県内分布】全域 【形態・生態】TL1.7mm,食性:キョウチクトウ,ガガイモ,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】186 【文献県内】35

昆虫類	アブラムシ科	影響度	緊急度
1046	チューリップネアブラムシ <i>Dysaphis tulipae</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】- 【県内分布】安房 【形態・生態】- 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】35

昆虫類	アブラムシ科	影響度	緊急度
1047	セイタカアワダチソウヒゲナガアブラムシ <i>Uroleucon nigrotuberculatum</i>	DD	C

【原産】北米 【国内分布】本州以南 【県内分布】全域 【形態・生態】無翅型のTLca.4mm,セイタカアワダチソウの師管液を吸汁,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:1991年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】202,87 【文献県内】35

昆虫類	コナジラミ科	影響度	緊急度
1048	チャトゲコナジラミ	A	B
<i>Aleurocanthus camelliae</i>			

【原産】中国(?) 【国内分布】22都府県 【県内分布】県北西部. 茶園, 生垣, 緑化樹 【形態・生態】TL1.1-1.3mm, 環境: 陸域, 孵化幼虫が葉裏に固着寄生, 4齢幼虫で越冬5月羽化, 寿命は2~4日, 食性: チャ, サザンカなどツバキ科植物 【繁殖】有性生殖, 場所: 茶園及びツバキ科緑化樹, 年4回(5, 7, 9, 10月) 【国内侵入】-: 2004年 【県内侵入】230(苗の移動): 2011年 【影響】310(葉の吸汁加害, すず病, 不快害虫) 【緊急】繁殖力高く、短期間に高密度となる。また、成虫は農薬が効きにくい 【対策】発見しだい防除, 秋冬期の薬剤防除, 薬剤散布前に深刈り, すそ刈り. 土着天敵保護, 黄色粘着トラップで発生消長モニタリング 【備考】- 【文献全般】337 【文献県内】30

昆虫類	コナジラミ科	影響度	緊急度
1049	シルバーリーフコナジラミ	生態学会100 B	B
<i>Bemisia argentifolii</i>			

【原産】北米 【国内分布】全国 【県内分布】全域. 全域に広く定着 【形態・生態】TL2mm, 露地越冬不可能, ポインセチア, トマト, カボチャイチゴ, ダイズなど. 吸汁性昆虫で、雑食性. 環境: 陸域 【繁殖】卵生, 場所: ナス科, ウリ科, マメ科ほか, 時期: 通年 【国内侵入】230: 1989年 【県内侵入】230: 1988年 【影響】230(トマト黄化葉巻ウイルス), 310(すず病, トマト黄化葉巻病) 【緊急】根絶が困難 【対策】殺虫剤, 防虫ネット, 幼若ホルモン溶剤シート, 天敵等, 成虫侵入防止対策: 紫外線カットフィルム開口部を遮光資材でふさぐ. 捕虫テープによる成虫誘引捕殺 【備考】タバココナジラミとの区別は困難 【文献全般】126, 125, 202 【文献県内】-

昆虫類	コナジラミ科	影響度	緊急度
1050	タバココナジラミ	IUCN100 B	B
<i>Bemisia tabaci</i>			

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】全域 【形態・生態】植食性, 環境: 陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】310(トマト, ポインセチア, ウリ類など) 【緊急】根絶が困難であるが、防除などの対策を取り続けるべき 【対策】薬剤防除 【備考】シルバーリーフコナジラミとの区別は困難 【文献全般】- 【文献県内】-

昆虫類	コナジラミ科	影響度	緊急度
1051	オンシツコナジラミ	生態学会100 B	B
<i>Trialeurodes vaporariorum</i>			

【原産】北米ないし中南米 【国内分布】全国 【県内分布】全域. 全域に広く定着 【形態・生態】TL1.2mm, 施設内では冬季でも繁殖. 4~6月と10~12月発生が多, 食性: トマト, 花卉, ナス, キュウリ, インゲン, 環境: 陸域 【繁殖】卵生, 場所: 花き・野菜圃場, 時期: 4~6月が特に多. 温室年10回以上, 露地年6回発生. 夏期は一時抑制 【国内侵入】210: 1974年広島, 福島で確認 【県内侵入】210:- 【影響】310(吸汁加害と排泄物にすず病菌繁殖, 作物の生育阻害・収量低下, ウイレル病媒介) 【緊急】根絶が困難 【対策】紫外線カットフィルム利用, 開口部をふさぐ, 捕虫テープによる誘引捕殺, 天敵利用(オンシツツヤコバチ), 登録薬剤防除, 発生初期の処置 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】-

昆虫類	ワタフキカイガラムシ科	影響度	緊急度
1052	イセリアカイガラムシ	C	C
<i>Icerya purchasi</i>			

【原産】オーストラリア 【国内分布】本州, 四国, 九州, 屋久島, 種子島, 奄美大島, 沖縄, 石垣島 【県内分布】下総台地, 内湾低地, 房総沿岸部. 市街地の公園などの天敵の少ない人工的な環境下やトベラなどに多発 【形態・生態】TL4-6mm, 環境: 陸域 【繁殖】時期: 年2-3回, 時期不定 【国内侵入】210: 明治時代 【県内侵入】210:- 【影響】310(柑橘類, ブルーベリー, 庭園樹) 【緊急】- 【対策】薬剤防除, 天敵のベダリアテントウの導入・放飼(制圧に成功) 【備考】天敵のベダリアテントウも外来種 【文献全般】121, 202 【文献県内】-

昆虫類	コナカイガラムシ科	影響度	緊急度
1053	マデイロコナカイガラムシ <i>Phenacoccus madeirensis</i>	C	C

【原産】中南米 【国内分布】高知県 【県内分布】千葉県鴨川市のキク栽培農家1件 【形態・生態】TL♀4-5mm,年数回発生,草食,環境:陸域 【繁殖】卵生,場所:果樹類,植木類,草本植物の葉上,時期:通年 【国内侵入】1987年から1990年代の初めにかけて小笠原と南西諸島で確認. 本土にも分布. :1987年(小笠原,南西諸島) 【県内侵入】苗の移動:2004年 【影響】310(寄生による生育抑制等の直接的被害と排泄物にすす病) 【緊急】- 【対策】カイガラムシ類の防除薬剤の散布および捕殺(予防的薬剤散布により防除可能) 【備考】- 【文献全般】202,149 【文献県内】-

昆虫類	マルカイガラムシ科	生態学会100	影響度	緊急度
1054	ヤノネカイガラムシ <i>Unaspis yanonensis</i>		C	C

【原産】中国四川省 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】内湾低地,房総丘陵. ほぼ確認されない 【形態・生態】TL♀2.5-3.5mm,年3回発生,成虫越冬一部2齢,食性:柑橘類,環境:陸域 【繁殖】卵生,場所:カンキツの枝,幹,葉,果実,時期:幼虫5~6月,7~8月,9~10月 【国内侵入】210:1907年長崎県で初,明治期に記載 【県内侵入】210,400成虫の移動分散:- 【影響】310(カンキツ) 【緊急】- 【対策】登録薬剤による防除,天敵昆虫の定着利用(効果あり,なお,中国から導入された天敵(ヤノネキイロコバチ,ヤノネツヤコバチ)の放飼により国の指定有害動植物のリストから外された(2000年)) 【備考】- 【文献全般】121,202 【文献県内】-

昆虫類	アザミウマ科	生態学会100	影響度	緊急度
1055	ミカンキイロアザミウマ <i>Frankliniella occidentalis</i>		B	B

【原産】北米 【国内分布】全国 【県内分布】全域 【形態・生態】TL1.5-1.7mm,露地:桶で越冬可能,食性:花卉イチゴ,キュウリ,ナス,トマト,環境:陸域 【繁殖】時期:4~9月に5回発生 【国内侵入】230(花き類):1990年 【県内侵入】400:1990年 【影響】310(花き類主体,野菜,果実等に寄生,吸汁による花や生長点の萎縮,花卉かすり症状,果実着色阻,230(ウイルス) 【緊急】防除などの対策を取り続けるべき 【対策】薬剤(合成ピレスロイド系殺虫剤)抵抗性あり,侵入部を寒冷紗で覆う,粘着テープによる誘殺,天敵農薬 【備考】- 【文献全般】49,72,202 【文献県内】35

昆虫類	アザミウマ科	影響度	緊急度
1056	クロトンアザミウマ <i>Heliethrips haemorrhoidalis</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】関東以南 【県内分布】全域. 全域に広く定着 【形態・生態】TL♀1.3-1.7mm,成虫は5-10月,暖地では一年中,草食,環境:陸域 【繁殖】卵生(単為生殖),繁殖場所:寄生植物の茎葉,花器に産卵葉上 【国内侵入】小笠原で1937年に記録(1950 Monzen):- 【県内侵入】:- 【影響】310(イチゴ,ヤマモモ) 【緊急】- 【対策】薬剤防除 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】35

昆虫類	アザミウマ科	影響度	緊急度
1057	カキクダアザミウマ <i>Ponticulothrips diospyrosi</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】- 【県内分布】富津市梨沢,千葉市 【形態・生態】成虫TL3mm,幼虫0.5-2mm,食性:カキの新葉,環境:陸域 【繁殖】繁殖場所:果樹園 【国内侵入】:- 1975年(岡山県) 【県内侵入】:- 【影響】310(カキ) 【緊急】- 【対策】薬剤防除 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】35

昆虫類	アザミウマ科	影響度	緊急度
1058	ナシアザミウマ <i>Taeniothrips inoconsequens</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】- 【県内分布】清澄山 【形態・生態】- 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】35

昆虫類	アザミウマ科	影響度	緊急度
1059	ハナアザミウマ <i>Thrips hawaiiensis</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】北海道,本州,四国,九州,沖縄本島,宮古島,石垣島 【県内分布】全域 【形態・生態】TL0.9-1.6mm,植食性,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】310(花き,野菜類) 【緊急】- 【対策】薬剤防除(効果やや低),薬剤防除 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】35

昆虫類	アザミウマ科	影響度	緊急度
1060	ミナミキイロアザミウマ <i>Thrips palmi</i>	生態学会100 C	C

【原産】東南アジア 【国内分布】南西日本 【県内分布】全域. 近年発生は少ない 【形態・生態】TL1.3mm,年10世代前後,蛹化は土中,屋外越冬は不可能,食性:極めて多くの作物や雑草,環境:陸域 【繁殖】植物組織内に産卵,場所:ナス科,ウリ科 野菜,花き類の葉上,時期:通年 【国内侵入】230(花き類):1978年 【県内侵入】400:- 【影響】310(ウリ類,ナス,ピーマン) 【緊急】- 【対策】施設内の侵入防止,紫外線除去フィルムで覆う,反射フィルムでマルチ,粘着テープでの誘殺,天敵農薬の利用,登録薬剤による防除(薬剤抵抗性を獲得した難防除害虫である) 【備考】- 【文献全般】120 【文献県内】35

昆虫類	アザミウマ科	影響度	緊急度
1061	グラジオラスアザミウマ <i>Thrips simplex</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】全国,1989年岡山,新潟,青森県で確認 【県内分布】全域,安房郡 【形態・生態】TL♀1.6mm,♂1.3mm,成虫・幼虫・卵で球根の鱗片付近で越冬し,春新芽の伸長とともに地上部に移動し食害する,食性:グラジオラスほかカーネーション,アイリス,フリージア,ユリ,バラ小型の吸汁性昆虫,雑食性冬期非休眠型増殖能力が高く,単為生殖が可能?,環境:陸域 【繁殖】卵生,場所:寄生植物の茎葉,花器に産卵,時期:春~秋 【国内侵入】230種球根の移動:1986年(茨城県,静岡県,奈良県) 【県内侵入】230:- 【影響】310(花き類) 【緊急】- 【対策】殺虫剤への耐性も強い?オルトラン水和剤に浸漬,薬剤防除 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】-

昆虫類	アザミウマ科	影響度	緊急度
1062	ネギアザミウマ <i>Thrips tabaci</i>	C	B

【原産】- 【国内分布】北海道,本州,四国,九州,沖縄本島,久米島,宮古島,石垣島,西表島 【県内分布】全域. 多くの露地野菜や花で問題 【形態・生態】TL1mm,植食性,環境:陸域 【繁殖】単為生殖で増加,♂は稀 【国内侵入】-:- 小笠原1937年(1950 Monzen) 【県内侵入】-:- 【影響】310(各種作物) 【緊急】根絶が困難であるが,防除などの対策を取り続けるべき 【対策】薬剤防除(効果低) 【備考】ウイルス媒介 【文献全般】202 【文献県内】35

昆虫類	ボクトウガ科	影響度	緊急度
1063	ヒメボクトウ	A	C
	<i>Cossus insularis</i>		

【原産】- 【国内分布】徳島県他のナシ産地 【県内分布】市原市. 果樹園,森林 【形態・生態】開帳40~60mm,環境:陸域,樹木の粗皮下に卵塊産卵.幼虫は枝幹内に食入,幼虫越冬.1~2年で羽化 【繁殖】有性生殖,6~8月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】400(?):2010年以前 【影響】310(果樹,ポプラ,ヤナギ類) 【緊急】発生量は多くないが、樹を衰弱させるので防除が必要 【対策】枝幹被害部位は切除処分,休眠期に産卵された粗皮削り,生物農薬(バイオセーフ)を幼虫発生期に使用 【備考】- 【文献全般】植物防疫.(64).779-781 【文献県内】31

昆虫類	ハマキガ科	影響度	緊急度
1064	ナシヒメシンクイ	C	B
	<i>Grapholita molesta</i>		

【原産】中国大陸 【国内分布】全国 【県内分布】全域. 県内の多くのナシ園多発,重要害虫になっている 【形態・生態】開張10-13mm,年間2~6回発生,食性:バラ科,ナシ,ビワ,リンゴ,モモ等,環境:陸域 【繁殖】卵生,場所:ナシ,リンゴほか落葉果樹,クリ,カンキツ,チャなどの新梢,時期:春~秋 【国内侵入】210:1905年 【県内侵入】210,400成虫の飛翔拡大:- 【影響】310(ナシ等バラ科果樹を加害. 幼虫の果実) 【緊急】根絶が困難であるが、防除などの対策を続けるべき 【対策】薬剤防除,粗皮削り等により、越冬量を減少,被害結果枝の除去,登録薬剤による防除,性フェロモン剤による防除法が普及(効果大) 【備考】- 【文献全般】119,92 【文献県内】334

昆虫類	ヒロゾゴガ科	影響度	緊急度
1065	クロテンオオメンコガ	C	C
	<i>Opogona sacchari</i>		

【原産】アフリカ,中南米,ヨーロッパ 【国内分布】本州以南 【県内分布】千葉県君津郡内の観葉植物栽培農家数件で発生. 観葉植物栽培施設の周辺においても越冬定着の可能性 【形態・生態】TL(開張)♀23mm,♂20mm,草食,環境:陸域 【繁殖】卵生,繁殖場所:寄生植物(観葉植物)の木部 【国内侵入】163:1986年(植物検疫) 【県内侵入】163:1989年 【影響】310(観葉植物(アロエ,パキラ)寄生) 【緊急】- 【対策】成・幼虫の捕殺及び寄生植物の隔離,防虫ネット等による被害拡大防止(根本的な防除になっていないため、徐々に被害が拡大. 冬期でも加温施設内で活動し、定着していると思われる) 【備考】- 【文献全般】369 【文献県内】-

昆虫類	スガ科	影響度	緊急度
1066	リンゴスガ	C	C
	<i>Yponomeuta malinellus</i>		

【原産】ヨーロッパ? 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】下総台地 【形態・生態】開張17-24mm,成虫6-7月.年1世代,一齢幼虫で越冬,食性:バラ科果木,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 明治の初め 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】87,43 【文献県内】35

昆虫類	キバガ科	影響度	緊急度
1067	バクガ	C	C
	<i>Sitotroga cerealella</i>		

【原産】- 【国内分布】- 【県内分布】下総台地,房総丘陵 【形態・生態】開張13-17mm,食性:麦類,米,トウモロコシなど,環境:陸域 【繁殖】時期:北海道で年2回,暖地で年4~5回,初夏に麦穂に産卵,穀粒に侵入した幼虫は貯穀庫内で成長,蛾は屋内でも産卵,1匹総産卵数50-150個程度 【国内侵入】-:- 明治期に記載(佐々木1900) 【県内侵入】-:- 【影響】貯穀害虫 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】202,87,274 【文献県内】35

昆虫類	マダラガ科	影響度	緊急度
1068	タケノホソクロバ <i>Artona martini</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】市川市,千葉市花園町 【形態・生態】TL約20mm,出現期:7-8月,暖地で2-3回,食性:タケ,ササ,環境:陸域,昼行性 【繁殖】- 【国内侵入】-:小笠原で1937年に記録(1950 Monzen) 【県内侵入】-:- 【影響】220(幼虫の背面の瘤起部に毒針毛を備え、これに触れると激しい痛みと後にかゆみを伴う皮膚炎) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】87,202,43 【文献県内】35

昆虫類	イラガ科	生態学会100	影響度	緊急度
1069	ヒロヘリアオイラガ <i>Parasa lepida</i>	C	C	

【原産】中国,インド,セイロンなど 【国内分布】本州,九州,沖縄 【県内分布】下総台地,房総丘陵 【形態・生態】幼虫は6月下旬~8月中旬,9月中旬~11月,繭で越冬,食性:カキ,ナンキンハゼ,モミジバフウ,サクラ他,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 1989年千葉市初記録 【影響】220(触れると痛い) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】87 【文献県内】35

昆虫類	メイガ科	影響度	緊急度
1070	ワタヘリクロノメイガ <i>Diaphania indica</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】全域 【形態・生態】開張25mm,成虫6-7月,9-10月,食性:ワタ,ウリ,アオイ,ムクゲ等,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】310(ワタ,アオイ,クワ,キュウリ等ウリ科の葉・生長点加害) 【緊急】- 【対策】薬剤防除(効果の高い薬剤あり) 【備考】- 【文献全般】87 【文献県内】-

昆虫類	メイガ科	影響度	緊急度
1071	スジマダラメイガ <i>Ephesia cautella</i>	C	C

【原産】熱帯~亜熱帯 【国内分布】- 【県内分布】下総台地,房総丘陵 【形態・生態】開張8-18mm,年3-4回発生,幼虫越冬倉庫内,食性:米,麦,マメなど.特に粉状になった状態で多く発生,環境:陸域,成虫は通常何も食べない 【繁殖】生涯で平均1.4回交尾し200-300個程度産卵 【国内侵入】250穀物の移動:大正期~昭和初期に定着 【県内侵入】250:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】87,202,274 【文献県内】35

昆虫類	メイガ科	影響度	緊急度
1072	ツツリガ <i>Paralipsa gularis</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】下総台地 【形態・生態】成虫は屋内,食性:貯穀,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】200 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】87 【文献県内】35

昆虫類	メイガ科	影響度	緊急度
1073	シバツトガ <i>Parapediasia teterrella</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州, 四国, 九州, 対馬, 沖縄 【県内分布】全域 【形態・生態】TL成虫開張19-21mm, 年3回発生, 草食, 環境: 陸域 【繁殖】卵生, 場所: シバ類の茎葉, 根部, 時期: 5~10月 【国内侵入】210: 1964年兵庫県でアメリカジョージア州から 【県内侵入】210:- 【影響】310(シバ), 200(ゴルフ場) 【緊急】- 【対策】パチルス・チューリンゲンシス(BT)は自然界に広く分布している天敵細菌, 薬剤防除(効果高い) 【備考】- 【文献全般】87 【文献県内】-

昆虫類	メイガ科	影響度	緊急度
1074	ノシメマダラメイガ <i>Plodia interpunctella</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】- 【県内分布】下総台地 【形態・生態】開張11-18mm, 米, クルミ, 豆, 乾果, 菓子, 穀類・穀粉やその製品, チョコレート, 菓子, ペット飼料等から発生, 環境: 陸域: 屋内で普通に見られるガで, 台所で発生する害虫の大半はこの種, 幼虫越冬 【繁殖】時期: 発生適温: 25℃前後, 1匹総産卵数は100-400個程度, 最適な条件では約40日で成虫になる 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】200(家屋内で発生) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】87, 274 【文献県内】35

昆虫類	メイガ科	影響度	緊急度
1075	カシノシマメイガ <i>Pyralis farinalis</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】- 【県内分布】下総台地, 房総丘陵 【形態・生態】TL22-30mm, 成虫6-10月, 年1, 2回発生, 幼虫越冬, 食性: 穀類, 穀粉類, 種子類など, 環境: 陸域 【繁殖】繁殖場所: 成虫は屋内 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】200(穀類食害) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】87, 43 【文献県内】35

昆虫類	スズメガ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1076	クロメンガタスズメ <i>Acherontia lachesis</i>		C	C

【原産】日本 【国内分布】九州, 屋久島, 沖縄諸島 【県内分布】全域 【形態・生態】開長100-125mm, 成虫期7-8月, 11月, ナス科, マメ科, ヒルガオ科など 【繁殖】年1回? 【国内侵入】300?:- 【県内侵入】300?: 2007 【影響】310(ナス, トマトなどの葉を食害, トマトの未熟果の記録あり) 【緊急】- 【対策】幼虫を発見し, 捕殺する 【備考】本州で増加中 【文献全般】44 【文献県内】323

昆虫類	スズメガ科	影響度	緊急度
1077	キョウチクトウスズメ <i>Daphnis nerii</i> (Linnaeus)	D	C

【原産】アフリカ, インド, 東南アジア 【国内分布】小笠原, 琉球列島, 九州 【県内分布】館山市(1例のみ). 植栽されたキョウチクトウに終齢幼虫発見(2010年) 【形態・生態】開長80-120mm, 5-11月に出現, 宮古島以北では越冬できない(県内では無効分散) 【繁殖】多化 【国内侵入】-: 1960年 【県内侵入】400: 2011年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】和歌山県, 静岡県で確認されている. 今後定着の可能性はほとんどない 【文献全般】137 【文献県内】244

昆虫類	ヒトリガ科		影響度	緊急度
1078	アメリカシロヒトリ	生態学会100	B	B
	<i>Hyphantria cunea</i>			

【原産】北米 【国内分布】本州以南 【県内分布】全域. 銚子,八日市場,横芝,土気,高滝から東南部へ拡大 【形態・生態】成虫 TL14-16mm,年2~3回発生,食性:ブラタナスとサクラ,カキ,クワ,ヤナギ類,ニワウルシ等,環境:陸域:蛹で越冬 【繁殖】産卵数平均 900~1000個,場所:樹園地及び街路樹,時期:成虫が5-8月 【国内侵入】250(輸入貨物への蛹混入):1945年頃 【県内侵入】400:1949年 【影響】310(各種街路樹や農作物),270(街路樹や公園の樹木,庭木などの食害) 【緊急】根絶が困難であるが、防除などの対策を取り続けるべき 【対策】薬剤防除 【備考】- 【文献全般】86,61,96 【文献県内】35

昆虫類	ヤガ科		影響度	緊急度
1079	オオタバコガ		C	C
	<i>Helicoverpa armigera</i>			

【原産】アフリカ,ヨーロッパ,アジア,オーストラリア 【国内分布】全国 【県内分布】- 【形態・生態】TL15-18mm,出現期:6-7月,9-10月,食性:トマト,ナス,オクラ,シシトウ,エンドウ,レタス,キャベツ,ニンジン,ワタ,ラッカセイ等,環境:陸域 【繁殖】年2-3回発生 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】310 【緊急】- 【対策】粗皮削り,がんしゅ病病斑中の虫を捕殺,がんしゅ病罹病木の除去,剪定痕の傷に塗布剤 【備考】- 【文献全般】137 【文献県内】294,295

昆虫類	ヤガ科		影響度	緊急度
1080	シロイチモジヨトウ		B	B
	<i>Spodoptera exigua</i>			

【原産】- 【国内分布】北海道,本州,四国,九州,沖縄 【県内分布】全域 【形態・生態】TL10-15mm,成虫は長距離移動可能,幼虫は耐寒性あり,食性:花卉,ネギなど広範囲,環境:陸域 【繁殖】暖地では年5世代.葉に50-300個の卵塊を産みつける,.雌1匹当たりの産卵数は300-900(最大1700) 【国内侵入】-:1980年1月沖縄県のゴルフ場のノシバで最初に発見 【県内侵入】-:- 【影響】310(ネギの葉) 【緊急】根絶が困難であるが、防除などの対策を取り続けるべき 【対策】薬剤による防除:3齢になると耐性が高い,孵化直後は効果あり,フェロモンによる防除:交信攪乱剤が市販 【備考】- 【文献全般】87,274 【文献県内】-

昆虫類	アゲハチョウ科	国内外来	影響度	緊急度
1081	ナガサキアゲハ		C	C
	<i>Papilio memnon</i>			

【原産】東南アジア~日本 【国内分布】九州,四国,中国地方,関東地方 【県内分布】全域 【形態・生態】九州北部年3回発生耐寒性が弱い,食性:ミカン科の栽培種各種,環境:平地,低い山地帯 【繁殖】最大産卵数:337,場所:グレープフルーツ(関東),時期:第1化4月下旬~5月下旬,第2化6月下旬~7月下旬,第3化8月中~下旬 【国内侵入】300?:1985年近畿地方 【県内侵入】300?:2001年(千葉市) 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】228 【文献県内】-

昆虫類	アゲハチョウ科		影響度	緊急度
1082	ヘレナキシタアゲハ	CITES:II	DD	C
	<i>Troides helena</i>			

【原産】東洋区のほとんど全域 【国内分布】分布していない 【県内分布】分布していない. 放蝶個体が偶然発見されただけと思われる 【形態・生態】開長:約120-160mm,食性:ウマノズクサ属の一種 【繁殖】- 【国内侵入】162:2000年(三重) 【県内侵入】162:2007年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】193 【文献県内】258

昆虫類	シジミチョウ科	影響度	緊急度
1083	クロマダラソテツシジミ	B	C
	<i>Chilades pandava</i>		

【原産】南アジア～東南アジア 【国内分布】沖縄島南部,与那国島 【県内分布】2009年県南部で発生が見られたが、それ以降確認されていない 【形態・生態】明瞭な季節型,食性:ソテツの若葉,環境:インゲンマメを代用食として利用 【繁殖】最大産卵数約300,繁殖場所:若葉の葉柄の側面,下面,葉裏 【国内侵入】300: 沖縄島南(1992-1993),与那国島(2001) 【県内侵入】300(ソテツ): 2009年のみ 【影響】310(ソテツ) 【緊急】県内で越冬可能性は低い 【対策】適用のある農薬なし 見つけ次第,捕殺 卵や幼虫の寄生した株を他地域に移動しない. 細心の注意を払う 【備考】- 【文献全般】228,高桑(2012)月刊むし(501):36-42 【文献県内】208,257

昆虫類	タテハチョウ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1084	ツマグロヒョウモン		C	C
	<i>Argyreus hyperbius</i>			

【原産】アメリカ大陸を除く熱帯・温帯域 【国内分布】本州西南部,四国,九州,南西諸島 【県内分布】千葉県全域. 普通にみられる 【形態・生態】山頂に集まる性質,食性:スミレ類,スミレ科無茎種,無毛種,環境:草原,平地,丘陵地の路傍 【繁殖】発生回数4,5回,最大産卵数:約1000,場所:スミレ類,食草付近の他物,時期:晩秋,羽化:第1化4月頃,第2化6月頃(九州) 【国内侵入】300?: 南西諸島?には以前から分布 【県内侵入】220, 300(中部,関東地方から)園芸種のバンジーなども食草とすることで分布を拡大していると考えられる: 2000年以降 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】228 【文献県内】-

昆虫類	タテハチョウ科	要注意外来生物(注意喚起)	影響度	緊急度
1085	アカボシゴマダラ名義タイプ亜種		C	C
	<i>Hestina assimilis assimilis</i>			

【原産】中国 【国内分布】関東,山梨,静岡,愛知,京都など 【県内分布】館山市,富津市,柏市,松戸市,野田市,船橋市 【形態・生態】3月下旬-4月上旬より11月下旬にわたり連続的に数回発生.(奄美大島)年6回程度,エノキ 【繁殖】最大産卵数130,場所:卵は成葉裏面・樹幹・太枝に1つずつ,時期:越冬態は幼虫 【国内侵入】162(逸出,意図的放蝶): 1995,1998年以降 【県内侵入】400,162: 2008 【影響】122(ゴマダラチョウ),110(同所にいる在来昆虫の幼虫に対する野鳥等の捕食圧を高める効果) 【緊急】- 【対策】- 【備考】奄美諸島には固有亜種*H. a. shirakii*が分布 【文献全般】228,高桑(2012)月刊むし(497):36-40 【文献県内】横田隆夫(2011),117

昆虫類	オサムシ科	影響度	緊急度
1086	コルリアトキリゴミムシ	C	C
	<i>Lebia viridis</i>		

【原産】北米 【国内分布】北海道,青森,関東,山梨,長野,静岡,京都,大阪 【県内分布】利根川低地,内湾低地,下総台地 【形態・生態】TL3.5-5mm,ハムシ類の幼虫に寄生タデ類の葉上にカミナリハムシ類と共にいることが多い,ハムシ類の幼虫に寄生,食性:カミナリハムシ類の幼虫,環境:陸域:オープンランド環境セイタカアワダチソウの花 【繁殖】- 【国内侵入】210: 1989に千葉県佐倉市から初めて報告(中根1989) 【県内侵入】210: 1989に千葉県佐倉市から初めて報告(中根1989) 【影響】112,120(上位捕食者としての影響 競合・駆逐の可能性) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】195,174 【文献県内】35

昆虫類	エンマムシ科	影響度	緊急度
1087	クロチビエンマムシ	DD	C
	<i>Carcinops pumilio</i>		

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】九十九里平野(海岸性昆虫) 【形態・生態】TL2.2-2.7mm,環境:陸域,イエバエの卵を捕食 【繁殖】- 【国内侵入】-: - 【県内侵入】-: - 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】338 【文献県内】35

昆虫類	クワガタムシ科		影響度	緊急度
1088	パラワンオオヒラタクワガタ	要注意外来生物(情報不足)	C	C
	<i>Dorcus titanus palawanicus</i>			

【原産】フィリピン 【国内分布】- 【県内分布】2004年9月大多喜町の1例のみ、飼育個体の放虫と思われる 【形態・生態】TL50mm-110mm,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:- 【影響】120(在来生物との競合・駆逐),142(在来のヒラタクワガタとの交雑の可能性) 【緊急】影響度は不明であるが、発見され次第根絶すべき 【対策】ペット昆虫が放逐されないような普及啓発活動 【備考】定着の可能性は未知 【文献全般】202,261 【文献県内】261

昆虫類	クワガタムシ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1089	アカアシクワガタ		D	C
	<i>Nipponodorcus rubrofemoratus</i>			

【原産】- 【国内分布】国後島,北海道,利尻島,奥尻島,本州,粟島,佐渡島,隠岐,四国,九州,対馬 【県内分布】千葉市(尾崎 2011) 【形態・生態】TL♂23.4-58.5mm,♀24.9-38.0mm6~10月出現,オノエヤナギやケヤマハンノキなどの樹液に集まる,幼虫・成虫の状態で越冬.環境:山地 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】162:2011年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】千葉市で採集された個体は飼育個体の放虫と思われる 【文献全般】- 【文献県内】250

昆虫類	クワガタムシ科		影響度	緊急度
1090	ギラファノギリクワガタ	要注意外来生物(情報不足)	C	C
	<i>Prosopocoilus giraffa borobudur</i>			

【原産】東南アジア 【国内分布】- 【県内分布】2004年7月印西市の1例のみ 【形態・生態】TL50mm-120mm,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:- 【影響】120(在来生物との競合・駆逐) 【緊急】影響度は不明であるが、発見され次第根絶すべき 【対策】ペット昆虫が放逐されないような普及啓発活動 【備考】印西市の個体は飼育個体の放虫と思われる.定着の可能性は未知 【文献全般】- 【文献県内】287

昆虫類	コガネムシ科		影響度	緊急度
1091	アトラスオオカブト		C	C
	<i>Chalcosoma atlas</i>			

【原産】熱帯アジア 【国内分布】- 【県内分布】2005年9月香取市(山田町)の1例のみ 【形態・生態】TL50mm-110mm,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】162:- 【県内侵入】162:- 【影響】120(在来生物との競合・駆逐) 【緊急】影響度は不明であるが、発見され次第根絶すべき 【対策】ペット昆虫が放逐されないような普及啓発活動 【備考】山田町の採取個体は飼育個体の放虫と思われる,定着の可能性は未知 【文献全般】- 【文献県内】262

昆虫類	カツオブシムシ科		影響度	緊急度
1092	シロオビマルカツオブシムシ		DD	C
	<i>Anthrenus nipponensis</i>			

【原産】- 【国内分布】本州~九州 【県内分布】房総丘陵 【形態・生態】TL2.3-4.1mm,食性:雑食,花など,環境:陸域,成虫4-7月.成虫で越冬 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	カツオブシムシ科	影響度	緊急度
1093	ヒメカツオブシムシ <i>Attagenus japonicus</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州～九州 【県内分布】利根川低地,内湾低地,下総台地,房総丘陵 【形態・生態】TL3.2-4.8mm,幼虫越冬.5月頃蛹化,6月頃成虫出現.食性:干物,毛皮,毛製品,絹,動物標本,飼料など,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】200,320 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163,201 【文献県内】35

昆虫類	カツオブシムシ科	影響度	緊急度
1094	シラホシヒメカツオブシムシ <i>Attagenus pellio</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州 【県内分布】印旛村 【形態・生態】TL4.9-5.8mm 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】1978年4月に印旛村で初めて採集される:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】305

昆虫類	カツオブシムシ科	影響度	緊急度
1095	トビカツオブシムシ <i>Dermestes ater</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】房総丘陵,房総沿岸部 【形態・生態】TL6.2-8.8mm,食性:動物の骨格標本に利用,食品,衣服,とくに毛織物を加害,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】200(毛織物等) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	カツオブシムシ科	影響度	緊急度
1096	カドマルカツオブシムシ <i>Dermestes haemorrhoidalis</i>	C	C

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】本州 【県内分布】内湾低地,房総丘陵,房総沿岸部 【形態・生態】TL6.2-8.2mm,食性:干物や動物死体などによく発生する.環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】200 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	カツオブシムシ科	影響度	緊急度
1097	ハラジロカツオブシムシ <i>Dermestes maculatus</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】房総丘陵,房総沿岸部 【形態・生態】TL5.5-9.5mm,1世代の期間は2-3ヵ月,食性:干物,飼料,動物死体等,環境:陸域 【繁殖】年3回発生.産卵数は約150個で暗所に産卵 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】200 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163,274 【文献県内】35

昆虫類	カツオブシムシ科	影響度	緊急度
1098	フィリカツオブシムシ <i>Dermestes frischi</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】四国,九州,琉球 【県内分布】千葉市. 2009年7月に千葉市で初めて採集される 【形態・生態】TL6.2-8.4mm;食性:乾燥動物食 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】200?:2009年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】283

昆虫類	カツオブシムシ科	影響度	緊急度
1099	アカマダラカツオブシムシ <i>Trogoderma varium</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】本州以南 【県内分布】下総台地 【形態・生態】TL2.6-4.0mm,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	ナガシクイムシ科	影響度	緊急度
1100	オオナガシクイ <i>Heterobostrychus hamatipennis</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州,四国,九州,伊豆諸島,五島列島,男女群島,屋久島,琉球 【県内分布】房総丘陵 【形態・生態】TL8.5-15.5mm,食材性.成虫は7~8月ごろ出現,竹材,貯穀,電話ケーブル 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】330,310 (重要な木材害虫,竹材,貯穀),200(電話ケーブル,ラワン材を加害(室内の内装,家具など)) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】35,209 【文献県内】38

昆虫類	ナガシクイムシ科	影響度	緊急度
1101	コナナガシクイ <i>Rhizopertha dominica</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州,四国,九州,種子島 【県内分布】房総丘陵 【形態・生態】TL2.1-3.0mm,成虫越冬.食性:穀類,穀粉類,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-: 明治期に記載(佐々木1900) 【県内侵入】-:- 【影響】310(穀類食害) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163,202,201 【文献県内】35

昆虫類	ヒラタキクイムシ科	影響度	緊急度
1102	ヒラタキクイムシ <i>Lyctus brunneus</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】日本全土 【県内分布】内湾低地,房総丘陵 【形態・生態】TL2.2-8.0mm,成虫は5月ごろから出現,主に夜間活動.木材に産卵し,卵は10日ほどで孵化.幼虫は10月末ごろまで材の中を食害.幼虫越冬し,4~5月ごろ,材の中で蛹化.約10日で成虫となる.ラワン,ナラ,カン,ケヤキ,キリ,タケ等を食害 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】200(室内の内装,家具など) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】35,201 【文献県内】38

昆虫類	シバンムシ科	影響度	緊急度
1103	シバンムシアリガタムシ <i>Lasioderma serricornis</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】全域 【形態・生態】TL1.7-3.1mm,食性:貯蔵穀物や穀粉およびパン,ビスケットなどの菓子類,畳,ワラなどの乾燥植物質.環境:陸域 【繁殖】時期:6~8月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】200(家屋内で発生することがある),220(本種に寄生するシバンムシアリガタバチに刺される恐れ) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】354

昆虫類	シバンムシ科	影響度	緊急度
1104	タバコシバンムシ <i>Lasioderma serricornis</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】日本全土 【県内分布】四街道,市川市 【形態・生態】TL1.7-3.1mm,年1~3化,成虫は5月ごろから出現.卵期間は1~2週間.幼虫期間は春から秋は25~50日であるが,越冬するものは200~250日.蛹期間は7~18日.乾燥植物質貯蔵たばこ葉 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】310(貯蔵たばこ葉),310(穀粉や加工食品) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】354,201 【文献県内】354 327

昆虫類	シバンムシ科	影響度	緊急度
1105	ケブカシバンムシ <i>Nicobium hirtum</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】下総台地,内湾低地,房総丘陵 【形態・生態】TL3.7-6.0mm,6~8月頃成虫出現.食性:マツ,ヒノキ,クス,その他,環境:陸域 【繁殖】木材へ産卵する際は古材の割れ目などの深さ3mm以下の場所に約30個産む 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】330 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163,201,274 【文献県内】35

昆虫類	シバンムシ科	影響度	緊急度
1106	カバイロヒョウホンムシ <i>Pseudeurostus hilleri</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】北海道,本州,四国 【県内分布】- 【形態・生態】TL1.9-2.8mm,食性:乾燥動物質,環境:一般家屋や食糧貯蔵庫 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】200 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】354 【文献県内】-

昆虫類	シバンムシ科	影響度	緊急度
1107	ジンサンシバンムシ <i>Stegobium paniceum</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】利根川低地,下総台地,内湾低地 【形態・生態】TL1.7-3.0mm,5~10月頃成虫出現.年1~3化.食性:多くの乾燥動・植物質を食害.とりわけ漢方生薬,園芸用油かすなどの肥料,多くの乾燥動・植物質,漢方生薬,園芸用油かす等の肥料.環境:陸域 【繁殖】時期:年2~3回 【国内侵入】-:大正期~昭和初期に定着 【県内侵入】-:- 【影響】220(シバンムシアリガタバチ(刺傷被害を起こす)が寄生),310(油粕) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163,202,201 【文献県内】

昆虫類	ヒョウホムシ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1108	ナガヒョウホムシ		C	C
	<i>Ptinus japonicus</i>			

【原産】日本 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】下総台地,内湾低地 【形態・生態】TL2.7-5.0mm,食性:衣類,玄米や飼料等の穀物破片,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】200(毛織物等) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163,35 【文献県内】35

昆虫類	コクヌスト科		影響度	緊急度
1109	コクヌスト		C	C
	<i>Tenebroides mauritanicus</i>			

【原産】- 【国内分布】北海道,本州,四国,九州,小笠原,対馬 【県内分布】利根川低地,下総台地,内湾低地,房総丘陵 【形態・生態】TL6-10mm,年1化.成虫で越冬したものは4月ごろから出現.穀物などに1個ずつ産卵.春孵化した幼虫の多くは年内に成虫になるが、その他は幼虫で越冬する.貯穀,幼虫:貯穀食,成虫:昆虫(ガや甲虫の幼虫)食 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】310(貯穀害虫) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】35,201,274 【文献県内】38

昆虫類	カッコウムシ科		影響度	緊急度
1110	アカクビホシカムシ		C	C
	<i>Necrobia ruficollis</i>			

【原産】- 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】房総丘陵 【形態・生態】TL4-6mm,食性:干魚など乾燥動物質,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】340(干魚など乾燥動物質を食害) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】73,163 【文献県内】35

昆虫類	カッコウムシ科		影響度	緊急度
1111	アカアシホシカムシ		C	C
	<i>Necrobia rufipes</i>			

【原産】- 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】市川市,我孫子市,下総町(現成田市) 【形態・生態】TL3.5-7mm,食性:乾燥動植物質 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:-2003年 【影響】320(肉類の薫製品) 【緊急】- 【対策】- 【備考】2003年6月市川市で初めて採集 【文献全般】- 【文献県内】354,179,6

昆虫類	カッコウムシ科		影響度	緊急度
1112	シロオビカッコウムシ		DD	C
	<i>Tarsostenus unvittatus</i>			

【原産】- 【国内分布】本州~奄美 【県内分布】内湾低地,下総台地,房総丘陵 【形態・生態】TL4.0-5.0mm,捕食性で、ヒラタキクイムシなどの食材昆虫を捕食,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	ケシキスイ科	影響度	緊急度
1113	クリヤケシキスイ <i>Carpophilus hemipterus</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】北海道,本州,四国,九州,屋久島 【県内分布】内湾低地,房総丘陵 【形態・生態】TL2.4-4.0mm,5月頃成虫出現.気温により年2化以上.食性:貯蔵食品,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】200 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163,201 【文献県内】35

昆虫類	ケシキスイ科	影響度	緊急度
1114	クリイロデオキシイ <i>Carpophilus marginellus</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州以南 【県内分布】利根川低地,下総台地,房総丘陵 【形態・生態】TL2.4-3.9mm,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】120(在来生物との競合・駆逐の可能性) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	ケシキスイ科	影響度	緊急度
1115	ヘリグロヒラタケシキスイ <i>Omosita discoidea</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】北海道,本州,四国,九州,伊豆諸島 【県内分布】利根川低地,下総台地,内湾低地 【形態・生態】TL2.3-3.7mm,腐肉や骨に集まる 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】35 【文献県内】38

昆虫類	ケシキスイ科	影響度	緊急度
1116	ニセキボシヒラタケシキスイ <i>Omosita japonica</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】本州 【県内分布】君津市 【形態・生態】TL2.9-3.9mm,腐肉にくる 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】93

昆虫類	ネスイムシ科	影響度	緊急度
1117	トゲムネデオネスイ <i>Monotoma spinicollis</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】四国 【県内分布】安房郡鋸南町浮島 【形態・生態】TL1.9-2.6mm 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	ネスイムシ科	影響度	緊急度
1118	トビロデオネスイ <i>Monotoma picipes</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】北海道,本州,四国,九州,伊豆諸島,対馬 【県内分布】佐倉市,八千代市,白井市 【形態・生態】TL1.9-2.6mm,灯火によく集まる習性 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】1997年7月,佐倉市で初めて採集された:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】354 【文献県内】168,355,351

昆虫類	ホソヒラタムシ科	影響度	緊急度
1119	フタトゲホソヒラタムシ <i>Silvans bidentatus</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】我孫子市,清澄山 【形態・生態】TL2.5-3.5mm,食品類で発見.食品以外:カビなどの生えたところが発生源となっている可能性有.環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	ホソヒラタムシ科	影響度	緊急度
1120	ヒメフタトゲホソヒラタムシ <i>Silvans lewisi</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州~九州 【県内分布】下総台地,内湾低地,九十九里平野,房総丘陵 【形態・生態】TL2.1-2.5mm,食性:穀類の粉,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】310 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	ヒラタムシ科	影響度	緊急度
1121	サビカクムネチビヒラタムシ <i>Cryptolestes ferrugineus</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】房総丘陵 【形態・生態】TL1.5-2.2mm,穀物食.環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】310(食品害虫) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	キスイムシ科	影響度	緊急度
1122	ウスバキスイ <i>Cyrtophagus cellaris</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】本州,九州 【県内分布】下総台地,内湾低地,房総丘陵 【形態・生態】TL2.0-2.7mm,穀物に生えたカビを食べると考えられる.環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163,201 【文献県内】35

昆虫類	テントウムシ科	影響度	緊急度
1123	クモガタテントウ <i>Psyllobora viginitimaculata</i>	DD	C

【原産】北米 【国内分布】日本各地 【県内分布】内湾低地,下総台地 【形態・生態】TL2-3mm,飛翔力が高い越冬中は活動を休止数か月は餌を必要としない,食性:ウドンコ病菌 【繁殖】- 【国内侵入】1984年6月,東京都大田区:1984年(東京湾付近) 【県内侵入】-:2008(市川) 【影響】- 【緊急】- 【対策】テントウムシの生活史・食性等により異なる,モニタリングを含む継続的研究が不可欠 【備考】- 【文献全般】354,108,200 【文献県内】353,38

昆虫類	テントウムシ科	影響度	緊急度
1124	ベダリアテントウ <i>Rodolia cardinalis</i>	C	C

【原産】オーストラリア 【国内分布】全国 【県内分布】利根川低地,下総台地,内湾低地,九十九里平野,房総丘陵 【形態・生態】TL3.3-3.8mm,環境:陸域,成虫4-11月,ミカンなどの害虫であるイセリアカイガラムシを捕食 【繁殖】- 【国内侵入】110:1911~1912年 【県内侵入】110:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】害虫に対する天敵利用,いわゆる生物農薬利用の世界初の成功例 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	ヒメマキムシ科	影響度	緊急度
1125	ホソヒメマキムシ <i>Dienerella filum</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】本州 【県内分布】下総台地,内湾低地,九十九里平野 【形態・生態】TL1.2-1.6mm,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】食品害虫 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	コキノコムシ科	影響度	緊急度
1126	チャイロコキノコムシ <i>Typhaea stercorea</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】本州,沖縄 【県内分布】利根川低地,下総台地,房総丘陵 【形態・生態】TL2.0-2.5mm,穀物に生じたカビを食べると考えられる.環境:陸域:山間部,林 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163,201 【文献県内】35

昆虫類	ゴミムシダマシ科	影響度	緊急度
1127	ガイマイゴミムシダマシ <i>Alphitobius diaperinus</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州以南 【県内分布】我孫子市,市川市,印西市,富津市,市原市,君津市,清澄山 【形態・生態】TL5.5-6.0mm,食性:穀類の粉,環境:陸域 【繁殖】雌は羽化後3日程度で産卵を始め,1日に14-32個程度産卵 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】310(食品害虫) 【緊急】- 【対策】工場・倉庫の清掃をよくし,こぼれた粉粒などをそのまま放置しない 【備考】- 【文献全般】163,201,274 【文献県内】35

昆虫類	ゴミムシダマシ科	影響度	緊急度
1128	フタオビツヤゴミムシダマシ <i>Alphitophagus bifasciatus</i>	C	C

【原産】日本 【国内分布】本州, 四国, 九州 【県内分布】下総台地 【形態・生態】TL2.3-3.0mm, 穀物食, 環境: 陸域: 製粉工場の床面の変質粉の中 【繁殖】- 【国内侵入】-: - 【県内侵入】-: - 【影響】310(食品害虫) 【緊急】- 【対策】工場・倉庫の清掃 【備考】- 【文献全般】163, 35, 201 【文献県内】35

昆虫類	ゴミムシダマシ科	国内外来生物?	影響度	緊急度
1129	ゴモクムシダマシ <i>Blindus japonicus</i>		DD	C

【原産】- 【国内分布】本州, 四国, 九州, 五島列島, 男女群島 【県内分布】千葉市, 柏市 【形態・生態】8.0-9.0mm, 成虫4-10月, 環境: 砂地性, 食性: 腐植質 【繁殖】- 【国内侵入】-: 1990年代 【県内侵入】-: 2011年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】2011年9月に千葉市で初めて採集された 【文献全般】- 【文献県内】129, 107

昆虫類	ゴミムシダマシ科	影響度	緊急度
1130	チャイロコメノゴミムシダマシ <i>Tenebrio molitor</i>	C	C

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】本州 【県内分布】内湾低地, 房総沿岸部 【形態・生態】TL11.0-15.0mm, 穀物食, 幼虫がミルワーム, 「小動物の餌」として利用. 環境: 陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-: - 【県内侵入】-: - 【影響】310(食品害虫) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163, 201 【文献県内】35

昆虫類	ゴミムシダマシ科	影響度	緊急度
1131	コメノゴミムシダマシ <i>Tenebrio obscurus</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】北海道, 本州, 九州, 佐渡, 琉球 【県内分布】下総台地, 内湾低地, 房総丘陵 【形態・生態】TL14.0-18.0mm, 食性: 穀類, 環境: 陸域 【繁殖】280-500個程度産卵 【国内侵入】-: - 【県内侵入】-: - 【影響】120(在来生物との競合・駆逐), 310(穀類食害) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】73, 163, 201, 274 【文献県内】35

昆虫類	ゴミムシダマシ科	影響度	緊急度
1132	コクヌストモドキ <i>Tribolium castaneum</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州, 四国, 九州, 三宅島, 対馬, 琉球 【県内分布】利根川低地, 下総台地, 内湾低地, 房総丘陵 【形態・生態】3.0-4.0mm, 1年2~3世代. 成虫の寿命は約1年. 食性: 貯穀や穀粉類 【繁殖】羽化後60-100日頃が最も多く, 1日に10個程度産卵 【国内侵入】-: - 【県内侵入】-: - 【影響】310(貯穀害虫) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】35, 274 【文献県内】38

昆虫類	カミキリモドキ科	影響度	緊急度
1133	ツماغロカミキリモドキ <i>Necerdes melanula</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】内湾低地,房総沿岸部 【形態・生態】TL9.0-12.0mm,食性:湿った材木,環境:陸域:海岸付近,特に都会,貯木場.時として大発生 【繁殖】時期:成虫は5~6月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】220(体液にカンタリジンという有毒物質を持っていて、それが人間の皮膚につくと水ぶくれを引き起こす衛生害虫) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163 【文献県内】35

昆虫類	アリモドキ科	影響度	緊急度
1134	アトグロホソアリモドキ <i>Anthicus floralis</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】利根川低地,下総台地,房総沿岸地 【形態・生態】TL3.0-3.5mm,環境:陸域(干草,堆肥,干ブドウなどの乾燥果実で発見される) 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】163,201 【文献県内】35

昆虫類	カミキリムシ科	影響度	緊急度
1135	テツイロヒメカミキリ <i>Ceresium sinicum</i>	DD	C

【原産】台湾,中国,タイ 【国内分布】関東以西の本州,九州 【県内分布】内湾低地,下総台地 【形態・生態】TL9.5-15.5mm,食性:ケヤキ,アカメガシワ,ソメイヨシノ,イチヨウ等,環境:陸域:大都市周辺,住宅街(限定的) 【繁殖】時期:成虫は5~7月 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】75 【文献県内】35

昆虫類	カミキリムシ科	国内外来生物	影響度	緊急度
1136	ケブカトラカミキリ <i>Hirticlytus comosus</i>		B	B

【原産】日本 【国内分布】四国(南端),九州(鹿児島県),屋久島 【県内分布】匝瑳市,横芝光町,旭市,香取市,山武市,イヌマキが非常に高密度で加害された地域があった.被害木の撤去で個体数は減少したと思われるが被害は続いている 【形態・生態】TL8-11.5mm,成虫期4-7月,食性:ナギ 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】220:2008年 【影響】310(イヌマキ) 【緊急】- 【対策】- 【備考】2008年11月匝瑳市イヌマキ害で初確認 【文献全般】215,33,318 【文献県内】23,318,武田(2011)千葉県におけるケブカトラカミキリの発生初確認森林防疫60(5):12~15

昆虫類	カミキリムシ科	影響度	緊急度
1137	チャゴマフカミキリ <i>Mesosa perplexa</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】本州(兵庫県以西),四国,九州,対馬 【県内分布】館山市.恐らく同定間違い 【形態・生態】TL12-17mm 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】同定間違いの可能性大 【文献全般】- 【文献県内】35

昆虫類	カミキリムシ科	影響度	緊急度
1138	キボシカミキリ <i>Psacotha hilaris</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州,隠岐,四国,九州,対馬 【県内分布】利根川低地,下総台地,内湾低地,九十九里平野,房総丘陵. 普通に見られる 【形態・生態】TL15-30mm,成虫期5-11月,食性:クワ類,コウゾ,イチジク,イヌビワ,ガジュマル,アコウ,柑橘類,ヤツデ,カクレミノ,クサギ 【繁殖】- 【国内侵入】-:1870年頃 【県内侵入】-:- 【影響】310(クワやイチジク) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】35,215 【文献県内】38

昆虫類	カミキリムシ科	影響度	緊急度
1139	ラミーカミキリ <i>paraglenea frotunei</i>	C	C

【原産】台湾,中国,ベトナム北部 【国内分布】本州以南 【県内分布】下総台地,房総丘陵 【形態・生態】TL8-17mm,食性:ラミー,ムクゲ,ヤブマオ,カラムシなど,環境:陸域 【繁殖】5月から7月に成虫 【国内侵入】-:江戸時代 【県内侵入】-:- 【影響】113 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】75 【文献県内】-

昆虫類	ハムシ科	影響度	緊急度
1140	エンドウマメゾウムシ <i>Bruchus pisorum</i>	C	C

【原産】西アジア 【国内分布】- 【県内分布】- 【形態・生態】TL4.5mm.越冬成虫は5月頃から活動.貯穀害虫(野外型) 【繁殖】エンドウのさやに産卵 【国内侵入】210(アメリカからの輸入エンドウによる):明治初期~中期 【県内侵入】210?:- 【影響】310(貯穀害虫(野外型)) 【緊急】- 【対策】輸入豆類に対する植物検疫の強化 【備考】参考文献中ではエンドウゾウムシで記載(昆虫14) 【文献全般】35,108 【文献県内】-

昆虫類	ハムシ科	影響度	緊急度
1141	ソラマメゾウムシ <i>Bruchus rufimanus</i>	C	C

【原産】地中海沿岸 【国内分布】本州以南 【県内分布】全域 【形態・生態】TL4.4-5.0mm,食性:ソラマメ,越冬成虫は3月下旬頃から活動を始め,花粉や蜜を食べる.環境:陸域 【繁殖】ソラマメのさやが3cmくらいになると,その表面に1個づつ産卵し,幼虫はマメに入り7月下旬から10月上旬に成虫となる,時期:5月上旬 【国内侵入】-:1926年熊本県のソラマメ畑で初記録 【県内侵入】-:- 【影響】310(ソラマメ) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】75,202 【文献県内】35

昆虫類	ハムシ科	影響度	緊急度
1142	アズキマメゾウムシ <i>Callosobruchus chinensis</i>	B	C

【原産】- 【国内分布】本州以南 【県内分布】全域. 野外では発見しにくい 【形態・生態】TL2-3mm,年に数回発生,温度25℃・湿度75%で約1ヶ月で1世代,食性:アズキ,ササゲ,ダイズ,エンドウ,ソラマメ,環境:陸域:畑地及び室内成熟マメのみで育つ屋内型 【繁殖】貯蔵中の豆に産卵,繁殖場所:貯蔵中の豆類に直接産卵して世代を繰り返す. 【国内侵入】250中国からアズキに混入:3~8世紀 【県内侵入】250:- 【影響】310(貯蔵アズキ,ササゲ) 【緊急】- 【対策】輸入豆類に対する植物検疫の強化 【備考】- 【文献全般】67,75 【文献県内】-

昆虫類	ハムシ科	影響度	緊急度
1143	タバコノミハムシ <i>Epitrix hirtipennis</i> (Melsheimer)	B	B

【原産】北アメリカ,中央アメリカ 【国内分布】関東 【県内分布】野田市(2011.9.15). 野田市ナス加害 【形態・生態】TL1.5-2.5mm,5~6月,9~11月に成虫 【繁殖】卵から24日で成虫. 年4世代,繁殖場所:地表に産卵. 地表部近くで羽化 【国内侵入】:-:2011年以前 【県内侵入】:-: 【影響】310(ナス科害虫) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】68

昆虫類	ハムシ科	影響度	緊急度
1144	ブタクサハムシ <i>Ophraella communa</i>	C	C

【原産】北米 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】利根川低地,下総台地,内湾低地,九十九里平野,房総丘陵 【形態・生態】成虫越冬,1年に数回発生,食性:ブタクサ,オオブタクサ,オオオナモミ等,ヒマワリ,環境:陸域 【繁殖】卵数20-50個,幼虫期間20-25日,場所:食草の葉裏,時期:春~秋 【国内侵入】210:1995年までは未確認 【県内侵入】210:1996年千葉市 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】322

昆虫類	ハムシ科	影響度	緊急度
1145	ユーカリハムシ <i>Trachymela sloanei</i>	DD	C

【原産】オーストラリア 【国内分布】大阪,千葉,東京?,埼玉? 【県内分布】流山市,千葉市 【形態・生態】TL7-8mm,食性:ユーカリ 【繁殖】- 【国内侵入】:-:2006 【県内侵入】:-:2006年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】2006年8月に流山市で初めて採集される 【文献全般】- 【文献県内】196,282

昆虫類	ヒゲナガゾウムシ科	影響度	緊急度
1146	ワタミヒゲナガゾウムシ <i>Araecerus fasciculatus</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】本州以南 【県内分布】下総台地,房総丘陵 【形態・生態】TL2.5-4.0mm,食性:乾燥芋,乾燥油粕等に加害,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】:-: 【県内侵入】:-: 【影響】310(油粕) 【緊急】- 【対策】乾燥食品は密閉容器に保管,こぼれた食品は掃除機などで吸い取る 【備考】- 【文献全般】75 【文献県内】35

昆虫類	ゾウムシ科	影響度	緊急度
1147	アルファルファタコゾウムシ <i>Hypera postica</i>	C	C

生態学会100

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】本州,九州,琉球 【県内分布】県北部~中部 【形態・生態】TL4.8-5.5mm,成虫は5月中旬頃から樹皮下や建物の隙間・石の下などに移動.集団で夏眠,草食,環境:陸域 【繁殖】在来有用天敵なし,11月頃マメ科植物に飛来. 1,2月を中心に12-5月まで産卵 【国内侵入】250成虫が輸入貨物の隙間など侵入.:1982年に福岡県と沖縄県 【県内侵入】400成虫の飛翔移動:2004年 【影響】310(レンゲ,多発生地ではキュウリ,メロンなど) 【緊急】- 【対策】薬剤防除,ヨーロッパトビチビアメバチ(寄生蜂)の放飼,微生物の利用 【備考】対策としての天敵導入が新たな外来生物を生む危険性あり 【文献全般】75,76,320,202 【文献県内】25

昆虫類	ゾウムシ科	影響度	緊急度
1148	オオタコゾウムシ <i>Hypera punctatus</i>	C	C

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】本州 【県内分布】我孫子市,市川市江戸川河川敷,船橋市松が丘 【形態・生態】TL7.5-8.0mm,食性:シロツメクサ・アカツメクサなどのマメ科植物,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】250貼り芝の移動に伴って拡散?:1978年横浜植物防疫所が初記録 【県内侵入】250:- 【影響】120(在来生物との競合・駆逐の可能性) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】75,80,183 【文献県内】35

昆虫類	ゾウムシ科	影響度	緊急度
1149	ツメクサタコゾウムシ <i>Hypera nigrirostris</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】船橋市,成田市 【形態・生態】TL3.5-3.9mm,食性:クローバー類 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:-2000年以前 【影響】310(クローバー類) 【緊急】- 【対策】- 【備考】2000年に船橋市で初めて確認される 【文献全般】146 【文献県内】50,197

昆虫類	ゾウムシ科	影響度	緊急度
1150	ヤサイゾウムシ <i>Listroderes costirostris</i>	C	C

【原産】ブラジル 【国内分布】本州,四国,九州,岩手以南 【県内分布】全域. 1960年までに薬剤により減少 【形態・生態】TL9mm,耐凍生短日生,夏眠.幼虫は夜行動.耐寒温:卵2.8℃,幼虫6.3℃,蛹6.6℃,食性:野菜各種,環境:陸域 【繁殖】時期:年1回単為生殖 【国内侵入】210:1940年岡山県,1952年関東南部以西22都府県 【県内侵入】210:- 【影響】310(野菜類) 【緊急】- 【対策】薬剤防除 【備考】- 【文献全般】75,202 【文献県内】35

昆虫類	ゾウムシ科	影響度	緊急度
1151	ケチビコフキゾウムシ <i>Sitona hispidulus</i>	C	C

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】北海道,本州,九州 【県内分布】我孫子市,市川市江戸川河川敷,佐倉市,栄町須賀新田,館山市見物 【形態・生態】TL3.5~4.5mm.食性:シロツメクサなどのマメ科,環境:陸域:芝地・牧草地などの草原環境 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】120(在来生物との競合・駆逐の可能性) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】183 【文献県内】35

昆虫類	ゾウムシ科	影響度	緊急度
1152	アカウキクサゾウムシ <i>Stenopelmus rufinusus</i>	DD	C

【原産】- 【国内分布】全国 【県内分布】九十九里平野 【形態・生態】- 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:-1987年(茨城県) 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】35

昆虫類	ゾウムシ科	影響度	緊急度
1153	ツメクサタネコバンゾウムシ <i>Tychius picirostris</i>	DD	C
<p>【原産】- 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】浦安市 【形態・生態】- 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:-2006年 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】2006年に浦安市で初めて採集される 【文献全般】- 【文献県内】342,http://www.city.urayasu.chiba.jp/secure/1136/sizen_houkokusyo4.pdf</p>			

昆虫類	オサゾウムシ科	影響度	緊急度
1154	イネミズゾウムシ <i>Lissorhaptus oryzophilus</i>	生態学会100 B	B
<p>【原産】アメリカ南東部 【国内分布】本州~九州 【県内分布】全域. 全域に広く定着 【形態・生態】TLca.3.0-3.3mm,雑木林で成虫越冬,春に飛行可能.水田で産卵.土中で蛹化.羽化後越冬地に移動,幼虫イネの根を摂食.環境:陸域 【繁殖】卵生,単為生殖(雌だけで繁殖),場所:水田及び畦畔雑草,時期:5月~7月 【国内侵入】210(乾牧草):1976年(愛知県) 【県内侵入】400:- 【影響】310(イネ) 【緊急】根絶が困難であるが、防除などの対策を採り続けるべき 【対策】イネ自給率の向上,登録薬剤による防除,育苗箱施用剤利用 【備考】- 【文献全般】75,202 【文献県内】35,304</p>			

昆虫類	オサゾウムシ科	影響度	緊急度
1155	ココクゾウムシ <i>Sitophilus oryzae</i>	C	C
<p>【原産】熱帯? 【国内分布】全国 【県内分布】利根川低地,下総台地,房総丘陵 【形態・生態】TL2.0-2.8mm,食性:コメ,コムギ,穀類,環境:陸域:貯蔵穀物のある室内高温を好む 【繁殖】20-30℃で2-7ヵ月生存し、100-500個程度産卵 【国内侵入】250米の移動:- 【県内侵入】250:- 【影響】310(コメ,コムギ等の穀類食害) 【緊急】- 【対策】穀物貯蔵施設を低温に保つと、発生を抑制 【備考】- 【文献全般】67,75,341,202,274 【文献県内】35</p>			

昆虫類	オサゾウムシ科	影響度	緊急度
1156	コクゾウムシ <i>Sitophilus zeamais</i>	C	B
<p>【原産】- 【国内分布】北海道,本州,四国,九州,沖縄等 【県内分布】利根川低地,下総台地,九十九里平野,房総丘陵. 普通 【形態・生態】TL2.9-3.5mm,成虫は3月下旬~10月下旬まで活動が見られる.主に成虫越冬だが、幼虫が穀粒内で越冬することもある,食性:コメ,ムギ,トウモロコシなどの穀物,環境:貯蔵穀物のある室内 【繁殖】20-30℃で2-7ヵ月生存し、70-400個程度産卵 【国内侵入】-:-不明 【県内侵入】-:-不明 【影響】310(コメ,コムギなどの穀類) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】35,146,201,274 【文献県内】38</p>			

昆虫類	オサゾウムシ科	影響度	緊急度
1157	シバオサゾウムシ <i>Sphenophrus venetus</i>	C	C
<p>【原産】北米 【国内分布】本州,九州,琉球 【県内分布】利根川低地,下総台地,我孫子市,市川市,船橋市. ゴルフ場で被害が発生する 【形態・生態】TL7.9-9.3mm,年1回発生幼虫,成虫態で越冬,幼虫は4-5月ごろ活動,6月蛹化,7月羽化,成虫は芝のやわらかい葉幼虫は地中で根や地下茎,環境:陸域 【繁殖】卵生,場所:シバ類の茎葉,根部,時期:産卵5月 【国内侵入】210:1980年2月沖縄県のゴルフ場のノシバで最初に発見 【県内侵入】210市川市本行徳の河川敷の1個体が最初の記録:- 【影響】310(シバ) 【緊急】- 【対策】薬剤防除 【備考】- 【文献全般】75 【文献県内】35</p>			

昆虫類	オナガコバチ科	影響度	緊急度
1158	チュウゴクオナガコバチ <i>Torymus sinensis</i>	DD	C

【原産】中国河南省 【国内分布】本州 【県内分布】全域 【形態・生態】昆虫寄生性,環境:陸域 【繁殖】繁殖場所:クリ園 【国内侵入】110クリタマバチの防除を目的:1979年と1981年に導入 【県内侵入】110つくばで放虫した個体が、千葉県にも拡がり、定着:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】-

昆虫類	ツヤコバチ科	影響度	緊急度
1159	オンシツツヤコバチ <i>Encarsia formosa</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】- 【県内分布】野菜圃場 【形態・生態】TL0.6mm,オンシツコナジラミの内部寄生蜂.天敵として利用,肉食性広食性昆虫,環境:陸域:施設内 【繁殖】場所:施設野菜圃場,時期:周年 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】310(吸汁加害と排泄物にすす病菌繁殖,作物の生育阻害,収量低下,汚染果が発生,230(ウイレル病) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

昆虫類	タマバチ科	影響度	緊急度
1160	クリタマバチ <i>Dryocosmus kuriphilus</i>	C	C

【原産】中国 【国内分布】北海道,本州,四国,九州 【県内分布】全域 【形態・生態】TLca.2mm,幼虫は虫房を形成し越冬.早春、虫えいとなりそこで蛹化,初夏に羽化,虫えい内を採食,環境:陸域 【繁殖】年1世代,単為生殖,産卵数平均50,場所:卵は芽内に卵塊,時期:初夏に羽化後,産卵 【国内侵入】210日中戦争時代に中国河北省に駐留していた日本軍兵士が、穂木または苗木とともに持ち込んだ可能性が高い:1941年 【県内侵入】400:1952~1954年 【影響】コナラ属寄生タマバチ類を攻撃していた寄生蜂が影響を受けた可能性,310(クリ) 【緊急】- 【対策】薬剤防除(効果不明) 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】35

昆虫類	セイボウ科	影響度	緊急度
1161	イラガセイボウ <i>Praestochrysis shanghaiensis</i> (Smith)	C	C

【原産】中国 【国内分布】全国 【県内分布】下総台地,房総丘陵 【形態・生態】TL10mm,イラガの天敵,イラガの繭に産卵,環境:陸域 【繁殖】時期:7~9月 【国内侵入】-:明治~大正 【県内侵入】400:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】363

昆虫類	アナバチ科	影響度	緊急度
1162	アメリカシジガバチ <i>Sceliphron caementarium</i>	B	C

【原産】北米 【国内分布】本州,九州,小笠原諸島,南鳥島 【県内分布】利根川低地,下総台地,内湾低地,房総丘陵 【形態・生態】TL20-25mm,成虫の野外活動時期は6~10月,幼虫の餌としてハナグモ・アズチグモなどカニグモ類,環境:陸域 【繁殖】繁殖場所:里山の川縁のコンクリート建造物の軒下・壁面や橋の下などの隅に泥で営巣 【国内侵入】200巣が何らかの車両か貨物に付着した状態で侵入したと考えられる:1946年 【県内侵入】200:1950年 【影響】120(キゴシジガバチ) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】360 【文献県内】35

昆虫類	アナバチ科	影響度	緊急度
1163	モンキジガバチ台湾亜種	DD	C
<i>Sceliphron deformе deformе</i> (Smith)			

【原産】- 【国内分布】茨城県,埼玉県,東京都,神奈川県 【県内分布】ほぼ全域 【形態・生態】成虫は6~9月 【繁殖】- 【国内侵入】- 【県内侵入】-:1958年以前 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】*S. deformе nipponicum* Tsunekiモンキジガバチ本土亜種(ニッポンモンキジガバチ)は北海道,本州,四国,九州,対馬から記録されている 【文献全般】- 【文献県内】須田(1999a)

昆虫類	ミツバチ科	影響度	緊急度
1164	セイヨウミツバチ	C	C
<i>Apis mellifera</i> spp.			

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】全国 【県内分布】全域. ナシやイチゴの受粉用に利用 【形態・生態】植食性(花粉,蜜),環境:陸域 【繁殖】繁殖場所:施設野菜(イチゴ) 【国内侵入】110養蜂用に導入:1876年 【県内侵入】110:- 【影響】112(ニホンミツバチと巣が接近しているとニホンミツバチの巣を攻撃し全滅させる),122(花蜜源の競合) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】35

昆虫類	ミツバチ科	影響度	緊急度
1165	セイウオオマルハナバチ	A	A
<i>Bombus terrestris</i>		特定外来生物, 生態学会100	

【原産】ヨーロッパ 【国内分布】北海道,本州 【県内分布】下総台地,房総丘陵. 営巣は未確認 【形態・生態】植物の花粉や蜜等,環境:陸域 【繁殖】繁殖場所:土中で営巣して大きなコロニーを作る. 新女王が越冬 施設野菜(トマト) 【国内侵入】110ベルギーやオランダから輸入:1996年(北海道) 【県内侵入】110:- 【影響】122,121,142野生植物・栽培植物の盗蜜 【緊急】県内定着未確認だが、影響が大きいので、確認され次第すぐに排除,逸出防止策継続 【対策】外来生物法の遵守,逸出防除ネットの展張,使用済み巣箱の適正処理の普及を図る 【備考】- 【文献全般】202,345 【文献県内】296,280

昆虫類	ヤセバチ科	影響度	緊急度
1166	ゴキブリヤセバチ	D	C
<i>Evania appendigaster</i> Linnaeus			

【原産】世界各地 【国内分布】本州,四国,九州 【県内分布】市川市,白井市,我孫子市 【形態・生態】寄主がゴキブリ類,環境:木漏れ日が指す雑木林の古木付近,林縁部,公園のあずま屋,トイレなど寄主の住家としている付近 【繁殖】- 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】卵鞘内の卵を食べる有益な捕食寄生バチ 【文献全般】- 【文献県内】-

昆虫類	ミズアブ科	影響度	緊急度
1167	アメリカミズアブ	DD	C
<i>Hermetia illucens</i>			

【原産】- 【国内分布】本州以南 【県内分布】利根川低地,下総台地,房総丘陵 【形態・生態】TLca.10-20mm,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】-:1950年頃 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】360 【文献県内】35

昆虫類	ハモグリバエ科	影響度	緊急度
1168	トマトハモグリバエ <i>Liriomyza sativae</i>	B	B

【原産】北米南部～南米 【国内分布】2002年2月現在21都府県で確認 【県内分布】全域. 全域に広く定着 【形態・生態】TL2mm,成虫の飛翔能力が高く、発生源から広範な分散により分布が拡大,草食,環境:陸域 【繁殖】卵生,場所:ウリ科野菜他,時期:通年 【国内侵入】210:1999年京都府のトマト 【県内侵入】210:2000年 【影響】310(ウリ科) 【緊急】- 【対策】各種薬剤抵抗性が発達. 比較的低温に弱く、冬期にハウスの被覆を外して寒気にさらすことにより根絶の可能性,寄生蜂による防除が普及しつつある,薬剤防除 【備考】- 【文献全般】202 【文献県内】26

昆虫類	ハモグリバエ科	生態学会100	影響度	緊急度
1169	マメハモグリバエ <i>Liriomyza trifolii</i>		B	B

【原産】北米 【国内分布】全国 【県内分布】印旛管内全域. 施設トマトで周年発生 【形態・生態】TL2mm,環境:陸域 【繁殖】寄生する植物によって産卵数は変わる.キクでは300-400個程度,トマトでは50個程度 【国内侵入】-:1994年小笠原 1996年 【県内侵入】-:- 【影響】310(トマト,豆類,葉菜類の葉,ナス科等) 【緊急】- 【対策】冬期間のハウス開放,被害株の鋏込み,薬剤防除(やや難あり) 【備考】- 【文献全般】202,147 【文献県内】-

昆虫類	ショウジョウバエ科	影響度	緊急度
1170	キイロショウジョウバエ <i>Drosophila melanogaster</i>	DD	C

【原産】全世界 【国内分布】全国 【県内分布】全域 【形態・生態】TL約2mm,卵から成虫まで25℃で約10日,腐食性,住宅性で人家周辺,腐敗した果実など,果物の缶詰工場,ビール工場周辺にも多い,環境:陸域 【繁殖】時期:周年 【国内侵入】-:- 【県内侵入】-:- 【影響】- 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】- 【文献県内】-

昆虫類	ショウジョウバエ科	影響度	緊急度
1171	オナジショウジョウバエ <i>Drosophila simulans</i>	C	C

【原産】- 【国内分布】1972年以降全国 【県内分布】全域 【形態・生態】TL約2mm,腐敗植物食,環境:陸域 【繁殖】- 【国内侵入】210:1936年小笠原で発見,1972年以降全国的に見られる 【県内侵入】210:- 【影響】140(交配による遺伝子攪乱) 【緊急】- 【対策】- 【備考】- 【文献全般】346 【文献県内】-